



Multilingual Expert Program

大阪大学 マルチリンガル・エキスパート 養成プログラム

平成30年度 学部プログラム
大学院プログラム

はじめに

昨今、いわゆるエマージング・エコノミーの台頭とともに、複数の高度な外国語運用能力と高い専門性を身につけ、国際舞台で活躍できる人材の養成が急務となっています。国際公用語となっている英語はもちろん、これに加えて、中国語、スペイン語、ポルトガル（ブラジル）語、ロシア語、アラビア語、ベトナム語、インドネシア語等を縦横に運用できるとともに、法律、経済、人文社会科学等の専門知識を備えた人材が求められています。大阪大学は、外国語学部を擁する唯一の国立総合大学として、大阪外国語大学との統合のメリットを最大限に引き出し、他の大学では養成できないこうした貴重な人材を育成・輩出し、我が国の発展と国際社会の相互理解に貢献していきたいと考えています。

そこで、本学における新たな学際融合教育（学部・研究科等の枠にとらわれない教育）プログラムとして、本学の学生が多様（マルチ）な言語教育科目と各学部・研究科における専門教育科目を並行して履修することができる「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」を開設することにいたしました。

大阪大学は、多数の学部・研究科・研究所・センター等からなる総合大学です。マルチリンガル・エキスパート養成プログラムにおいて提供される各プログラムは、それぞれの専門分野を組み合わせることで編成されており、また、学部の課程と大学院の博士前期（修士）課程を通じたプログラムとして開設するものです。この教育環境を最大限利用してみませんか。

このプログラムを履修することで、今までより大きな視野で物事を考えることができるようになり、所属学部・研究科においてもプラスに作用すると確信しています。

平成30年度マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）プログラム
（学部プログラム・大学院プログラム）の概略

	学部プログラム	大学院プログラム ^{※1}
目的	複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成する。	
概要	<p>① 外国語学部の学生が、文系各学部が開設する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。</p> <p>② 文系学部学生が、外国語学部が開設する専門教育レベルの語学・文化学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。</p>	<p>③ 言語文化研究科の学生が、文系各研究科が開設する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、国際公共政策学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。</p> <p>④ 文系研究科の学生が、言語文化研究科（言語社会専攻）が開設する専門教育レベルの語学・文化学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。</p>
募集対象	<p>① 文学部開設のプログラムについては外国語学部2、3年次の正規学生 人間科学部、法学部、経済学部開設のプログラムについては、外国語学部2年次の正規学生</p> <p>② 文学部、人間科学部、法学部、経済学部の2、3年次の正規学生</p>	③④ともに32-41頁をご覧ください。
提供数	レギュラープログラム：6 ショートプログラム：1	7
募集人員	各プログラム：若干名	各プログラム：若干名
プログラム開始申請	必要（プログラム履修申請と科目履修申請／科目履修登録）	必要（プログラム履修申請と科目履修登録）
修了要件	<p>あり レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上 24単位未満</p> <p>所属する学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、当該学部プログラム修得のために必要な単位数の半数以上を修得しなければならない。（レギュラープログラムでは12単位以上、ショートプログラムでは6単位以上）</p>	<p>あり：14単位以上 所属する研究科の修了に必要な最低修得単位数以外に、当該大学院プログラム修了のために必要な単位数の半数（7単位）以上を修得しなければならない。</p>
修了認定証 ^{※2}	総長とプログラム開設部局長との連名で発行	
学部の卒業・研究科の修了とプログラムとの関係	<p>※3</p>	
マルチリンガル・エキスパート養成プログラム修了		

(※1) 大学院プログラムは大阪大学大学院副専攻プログラムとして開設します。

(※2) 学部プログラムのうちレギュラープログラムと大学院プログラムの両方を修了した者には、所属研究科を修了するときに、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えて大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。

(※3) 学部プログラムのうちレギュラープログラムの例

目 次

はじめに

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）の概略

1	プログラムの概要	1
	(1) 「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム （学部プログラム・大学院プログラム）」とは	
	(2) プログラムの区分	
	(3) プログラムの履修開始から修了までの流れの例	
2	募集対象者・履修条件等について	5
	(1) 募集対象者	
	(2) 履修条件	
	(3) 費用	
3	各プログラムのカリキュラム内容について	6
	(1) プログラムのカリキュラムについて	
	(2) プログラムの修了要件の満たし方について	
	(3) プログラムの授業科目の開講期間について	
4	プログラムの履修申請等に関する手続について	7
	(1) プログラムの履修開始時の手続について	
	(2) プログラム及びプログラム科目に関わる通知について	
	(3) プログラムの修了について	
	(4) プログラムの内容に関する問い合わせ先	
5	補足事項	11
	(1) 単位修得方法の注意点	
	(2) プログラム履修申請前の修得単位の扱いについて	
6	Q & A	14
平成30年度	マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）学部プログラム紹介	22
平成30年度	マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）大学院プログラム紹介	32
関係資料		46
	○大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ	
	○大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として実施される 学部プログラムに関する覚書	

1 プログラムの概要

「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」とはどのようなものか解説します。

（1）「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（学部プログラム・大学院プログラム）」とは

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（以下、MLE プログラムと表記）は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的として開設するもので、

- ① 世界各国・地域の言語・文化等を専攻している外国語学部・言語文化研究科の学生が、文系各学部・研究科が開設する専門教育レベルの人文科学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、国際公共政策学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム
- ② 人文科学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学等を専攻している文系学部・研究科の学生が、外国語学部・言語文化研究科（言語社会専攻）が開設する専門教育レベルの言語・文化等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム

となっています。

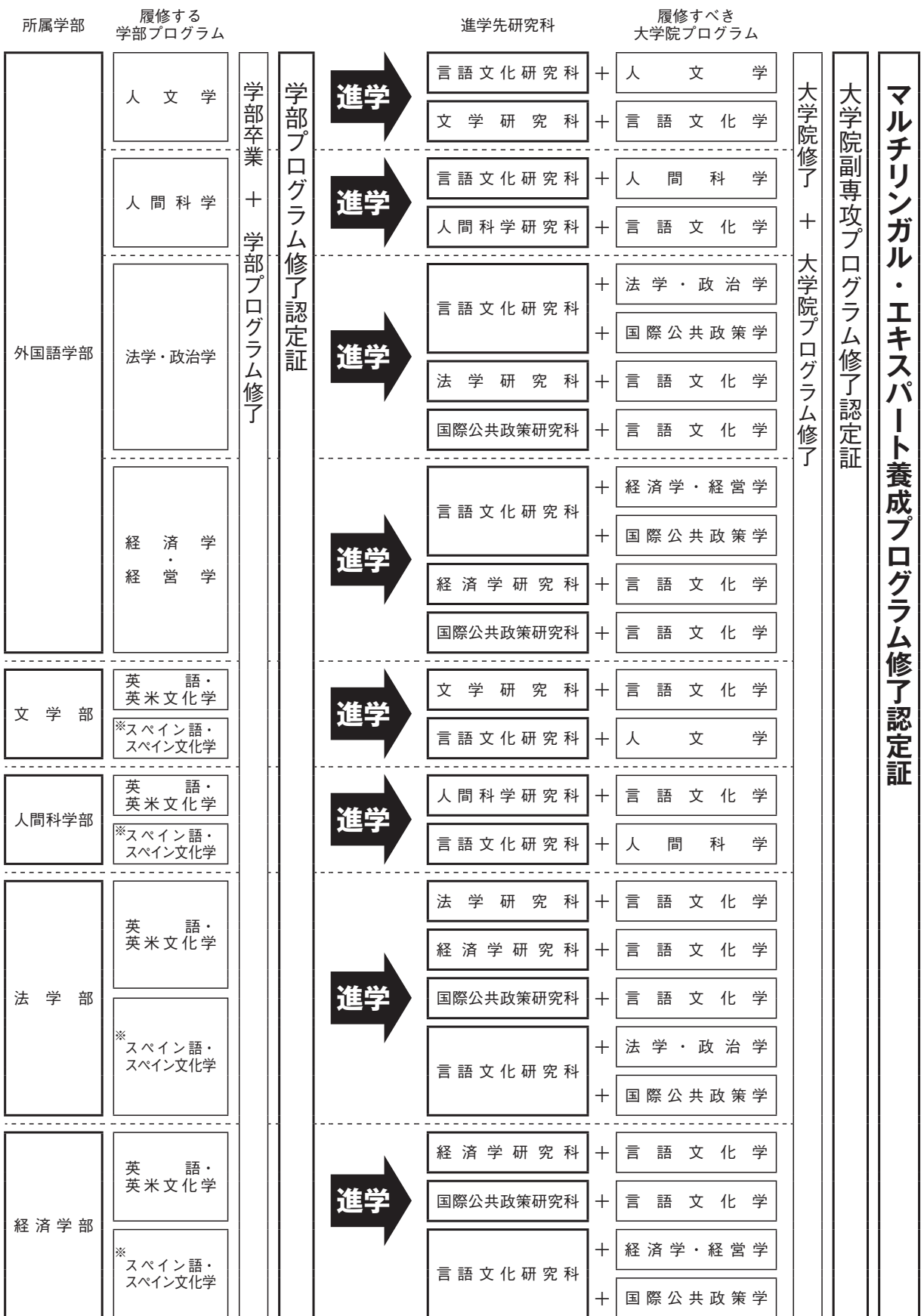
MLE プログラムは、学部プログラムと大学院プログラムからなっています。学部プログラムは、本学の文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部の学生を対象とした部局横断型のプログラムで、学部プログラムを修了すると学部プログラム修了認定証が交付されます。

大学院プログラムは、大阪大学の文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科に入学し希望する者は、大阪大学大学院副専攻プログラムとして履修することができます。大学院プログラムを修了すると大学院副専攻プログラム修了認定証が交付されます。

学部プログラムのうちレギュラープログラムを修了し、次頁の図1に示す進学先大学院で指定する大学院プログラムを修了すると、学部プログラムと大学院プログラムを合わせてのマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）修了認定証が交付されます。

それぞれの大学院プログラムの募集対象者については、8－9頁および32－41頁をご覧ください。

平成30年度開設のプログラムに基づいた履修パターン【図1】



※「スペイン語・スペイン文化学」はショートプログラムのため、大学院プログラムと合わせてマルチリンガル・エキスパート養成プログラム修了認定はされません。

(2) プログラムの区分

プログラムは、以下のように区別されています。

	学部プログラム	大学院プログラム
概要	① 外国語学部の学生が、文系学部（文学、人間科学、法学、経済学部）が開設する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。 ② 文系学部（文学、人間科学、法学、経済学部）の学生が、外国語学部が開設する専門教育レベルの語学・文化学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。	③ 言語文化研究科の学生が、文系研究科（文学、人間科学、法学、経済学、国際公共政策研究科）が開設する専門教育レベルの人文学、人間科学、法学・政治学、経済学・経営学、国際公共政策学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。 ④ 文系研究科（文学、人間科学、法学、経済学、国際公共政策研究科）の学生が、言語文化研究科（言語社会専攻）が開設する専門教育レベルの語学・文化学等に関する授業を体系的に学修することができるプログラム。
募集対象者 ^{※1}	上記文系学部の2年次以上の正規学生	32-41頁をご覧ください。
修了要件	レギュラープログラム：24単位以上 ショートプログラム：12単位以上24単位未満 ^{※2}	14単位以上 ^{※3}
プログラム数	① 5プログラム ② 2プログラム	③ 6プログラム ④ 1プログラム

(※1) プログラムごとに設定が異なりますので、必ず各プログラムの紹介等で確認してください。

(※2) 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとします。

(1) レギュラープログラム 24単位以上

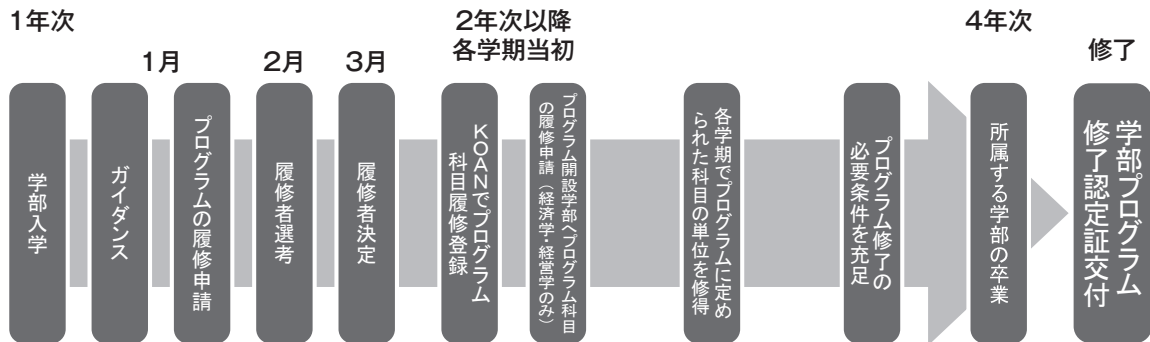
(2) ショートプログラム 12単位以上24単位未満

学部プログラムの修了に必要な単位と所属学部の卒業に必要な単位との重複を認めるものとします。ただし、当該学部プログラム修了のために必要な単位数の半数以上を、所属学部卒業に必要な最低修得単位数以外に修得する必要があります。

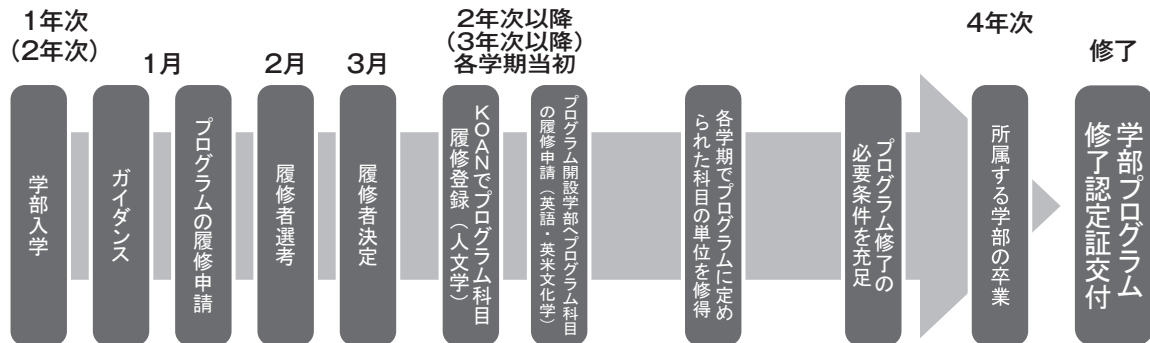
(※3) 大学院プログラムの修了に必要な単位と所属研究科の修了に必要な単位との重複を認めるものとします。ただし、当該大学院プログラム修了のために必要な単位数の半数（7単位）以上を、所属研究科の修了に必要な最低修得単位数以外に修得する必要があります。

(3) プログラムの履修開始から修了までの流れ【図2】

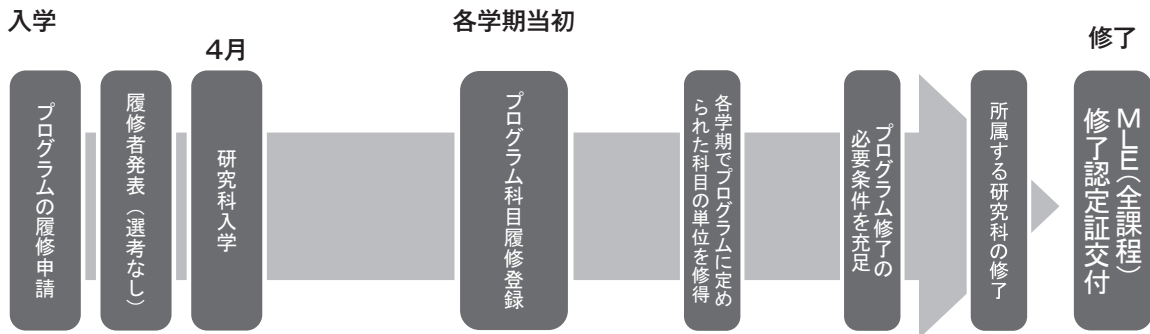
① 学部プログラム「人間科学」、「法学・政治学」、「経営学・経済学」を履修する場合



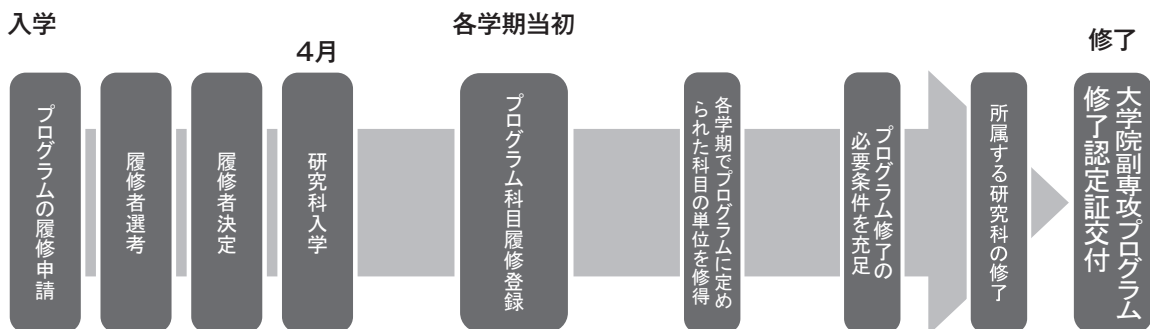
② 学部プログラム「人文学」、「英語・英米文化学」、「スペイン語・スペイン文化学」を履修する場合



③ 学部プログラム(レギュラープログラム)を修了した学生が2頁図1の履修パターンどおり大学院プログラムを履修する場合



④ ③以外で大学院プログラムを履修する場合



2 募集対象者・履修条件等について

MLEプログラムを履修することができる者、条件の概要を解説します。

(1) 募集対象者

◆学部プログラム

開設学部	プログラム	募集対象者
文学部	人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ) (グローバル・ユーロ・スタディーズ)	平成30年度に外国語学部外国語学科の2、3年次に在学する正規学生
人間科学部	人間科学(共生の生態)	平成30年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生
法学部	法学・政治学	
経済学部	経済学・経営学	
外国語学部	英語・英米文化学	平成30年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部の2、3年次に在学する正規学生
	スペイン語・スペイン文化学 (※新規、ショートプログラム)	

※スペイン語・スペイン文化学はショートプログラムです。詳細については、31頁およびプログラム紹介をご覧ください。

◆大学院プログラム(新規)

開設研究科	プログラム	募集対象者
文学研究科	人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ) (グローバル・ユーロ・スタディーズ)	32-41頁をご覧ください。
人間科学研究科	人間科学(共生の生態)	
法学研究科	法学・政治学	
経済学研究科	経済学・経営学	
国際公共政策研究科	国際公共政策学	
言語文化研究科	言語文化学	

(2) 履修条件

学部プログラムにおいては、大阪大学の文学部、人間科学部、外国語学部、法学部および経済学部の課程に在学していることが必要です。大学院プログラムにおいては、大阪大学の文学研究科、人間科学研究科、言語文化研究科、法学研究科、経済学研究科および国際公共政策研究科の修士もしくは博士前期課程に在学していることが必要です。(どちらも科目等履修生・特別聴講学生をのぞく)。その他、プログラムごとに履修条件や履修者数の制限を設けている場合がありますので、個々のプログラム紹介を参照してください。

なお、学部プログラムにおいては、複数のプログラムを同時に履修することはできませんので、プログラムの履修申請に際しては、1つのプログラムを選択して履修申請手続きを行ってください。

(3) 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

3 各プログラムのカリキュラム内容について

プログラムのカリキュラムの成り立ちや修了の方法について解説します。

(1) プログラムのカリキュラムについて

各プログラムのカリキュラムは、プログラム開設部局が企画し、プログラム科目や修了要件単位数を決めています。プログラム科目は、プログラム開設部局で開講する授業科目から構成されています。本冊子ではプログラムの概要と構成科目を紹介していますが、科目の内容についてはホームページやKOANのシラバス等を参照してください。

(2) プログラムの修了要件の満たし方について

◆学部プログラムの修了要件の満たし方（本冊子の補足事項11－12頁を参照）

修了要件はプログラムごとに違い、本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（22－31頁）等で確認してください。

なお、プログラムの修了に必要な単位と所属している学部の学科の卒業に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、学科の卒業に必要な単位として認められるかどうかは、所属学部の教務担当係に確認してください。ただし、当該学部プログラム修了のために必要な単位数の半数以上を、所属する学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に、修得する必要があります。

◆大学院プログラムの修了要件の満たし方（本冊子の補足事項13頁を参照）

修了要件はプログラムごとに違い、本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますが、プログラムによっては必修科目を設けたり、コースを選択したりするなど、条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介ページ（32－45頁）等で確認してください。

プログラムの修了に必要な単位と、所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。当該プログラムの単位が、専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科の教務担当係に確認してください。ただし、所属する専攻の修了に必要な最低修得単位数以外に、最低7単位を当該プログラムのための単位として修得する必要があります。

なお、他の大学院副専攻プログラムと本大学院プログラムを履修する場合、各プログラムの修了に必要な単位の重複は認めません。

(3) プログラムの授業科目の開講期間について

プログラムの提供する授業科目の開講は、プログラムを履修している当該学生の課程の標準修業年限内は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

4 プログラムの履修申請等に関する手続について

プログラムの履修申請、プログラム科目の履修について解説します。

(1) プログラムの履修開始時の手続について

学部プログラム

• 履修申請について

文系4学部開設プログラム（外国語学部生向け）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」

「人間科学（共生の生態）」

「法学・政治学」

「経済学・経営学」

応募希望者は、1つのプログラムを選択し、下記期間内に履修申請書と成績証明書を、各プログラム開設学部の教務係に提出してください。

履修申請書の提出期間 平成30年1月4日（木）～平成30年2月1日（木）

成績証明書の提出期限 平成30年3月5日（月）

外国語学部開設プログラム（文系4学部生向け）

「英語・英米文化学」

「スペイン語・スペイン文化学」

応募希望者は、1つのプログラムを選択し、履修申請書を平成30年1月4日（木）～平成30年2月1日（木）の期間内に、外国語学部箕面事務室のMLE担当者または外国語学部豊中分室に提出の上、成績証明書を平成30年3月12日（月）までに、所属学部の教務係に提出してください。

※履修申請書の様式は、KOANの掲示板およびMLEのホームページで入手できます。

<http://www.mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

• 選考について

開設学部の定める方法により履修生を選考し、3月下旬ごろ開設学部から履修生を発表します。
（選考方法については各プログラム紹介を参照のこと。）

• 科目履修登録について

選考を経て履修生となった学生は、学期ごとに開設学部の定めるルールに従って、科目履修申請書やKOAN、あるいはメール等により、所定の履修登録期間内に科目履修登録をします。
詳細については、KOANの掲示板およびホームページにてお知らせします。

大学院プログラム

・履修申請について

1. MLE 学部プログラムを修了し平成30年4月に文系研究科に入学する者（下表および2ページの図1参照）

修了した学部プログラム	入学する研究科	履修できるMLE大学院プログラム
人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）	言語文化研究科の博士前期課程	人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
	文学研究科の修士もしくは博士前期課程	言語文化学
人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）	言語文化研究科の博士前期課程	人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）
	文学研究科の修士もしくは博士前期課程	言語文化学
人間科学（共生の生態）	言語文化研究科の博士前期課程	人間科学（共生の生態）
	人間科学研究科の博士前期課程	言語文化学
法学・政治学	言語文化研究科の博士前期課程	法学・政治学 国際公共政策学
	法学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程	言語文化学
経済学・経営学	言語文化研究科の博士前期課程	経済学・経営学 国際公共政策学
	経済学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程	言語文化学

【申請期間】 平成30年3月1日（木）～16日（金）

【申請方法】 所定の履修申請書に記入し、以下のMLE担当にメールで送付してください。
multilingual@lang.osaka-u.ac.jp

【選考】 なし

2. MLE 学部プログラム修了生以外で

【履修対象区分】 平成30年4月に、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科および国際公共政策研究科の修士課程もしくは博士前期課程に入学する者

【定員】 若干名

【プログラム】 言語文化研究科：言語文化学

【申請方法】 以下の送付先に、申請期間中に必着となるように、以下の書類を簡易書留等記録の残る方法にて郵送してください。（封筒に【MLE大学院プログラム履修申請】と記入すること）。

- ① 履修申請書
- ② 最終学校の成績証明書の写し
- ③ 外国語の能力を証明するものの写し

送付先：〒562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

大阪大学言語文化研究科・外国語学部箕面事務室

MLE 担当

- 【申請期間】 平成30年3月1日（木）～3月16日（金）
 【選考】 履修申請書（志望動機）および成績等の審査の結果を総合して履修生を決定します。面接を課す場合は、追って連絡します。
 【発表】 平成30年3月下旬ごろにメールにて通知します。

3. MLE学部プログラム修了生以外で

【募集対象区分】 平成30年4月（又は10月入学の場合は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者

【定員】 若干名

【プログラム】 文学研究科：人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）
 人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）

人間科学研究科：人間科学（共生の生態）

法学研究科：法学・政治学

経済学研究科：経済学・経営学

国際公共政策研究科：国際公共政策学

【申請方法】 希望のプログラムの開設研究科の教務係宛てに、申請期間中に必着となるように、以下の書類を簡易書留等記録の残る方法にて郵送してください。（封筒に【MLE大学院プログラム履修申請】と記入すること）。

① 履修申請書（志望動機）

② 最終学校の成績証明書の写し

送付先：

文学研究科 〒560-8532 豊中市待兼山町1-5

人間科学研究科 〒565-0871 吹田市山田丘1-2

法学研究科 〒560-0043 豊中市待兼山町1-6

経済学研究科 〒565-0043 豊中市待兼山町1-7

国際公共政策研究科 〒565-0043 豊中市待兼山町1-31

【申請期間】 文学研究科 平成30年2月26日（月）～3月2日（金）

人間科学研究科 平成30年3月12日（月）～3月16日（金）

法学研究科 平成30年2月26日（月）～3月2日（金）

経済学研究科 平成30年3月12日（月）～3月16日（金）

国際公共政策研究科 平成30年3月12日（月）～3月16日（金）

【選考】 書類選考（※文学研究科では希望者多数の場合は面接を課すこともあります。）

【発表】 開設研究科教務係から、平成30年3月下旬ごろメールにて通知します。

※履修申請書の様式は、KOANの掲示板およびMLEのホームページで入手できます。

<http://www.mle.osaka-u.ac.jp/program/application.html>

・科目履修登録について

履修生となった学生は、学期ごとに開設研究科の定めるルールに従って、科目履修申請書やKOAN、あるいはメール等により、所定の履修登録期間内（所属する研究科と科目開設研究科が設定している履修登録期間内の重なる期間）に科目履修登録をします。詳細については、KOANの掲示板およびホームページにてお知らせします。

(2) プログラム及びプログラム科目に関わる通知について

プログラムに関する通知や、プログラム科目の授業運営に関する通知（休講、課題等）の連絡は、原則、KOANの広報システム（掲示板等）により行います。ただし、プログラムによってはメールやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

(3) プログラムの修了について

◆学部プログラム

学部プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、所属学部の課程を卒業するときに学部プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する学部の教務担当係より行われます。

◆大学院プログラム

大学院プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、所属研究科の課程を修了するときに大学院副専攻プログラムの修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

◆マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）

本プログラムの学部プログラムのうち、レギュラープログラムと大学院副専攻プログラムの両プログラムを修了した者には、所属研究科の課程を修了するときに、大学院副専攻プログラム修了認定証に加えてマルチリンガル・エキスパート養成プログラム（全課程）の修了認定証を授与します。修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

(4) プログラムの内容に関する問い合わせ先

言語文化研究科・外国語学部箕面事務室

マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（MLE） 担当

〒562-8558 箕面市粟生間谷東 8-1-1

Email: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp TEL: 072-730-5062

ホームページ URL: <http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



5 補足事項

各解説事項を補足します。

(1) 単位修得方法の注意点

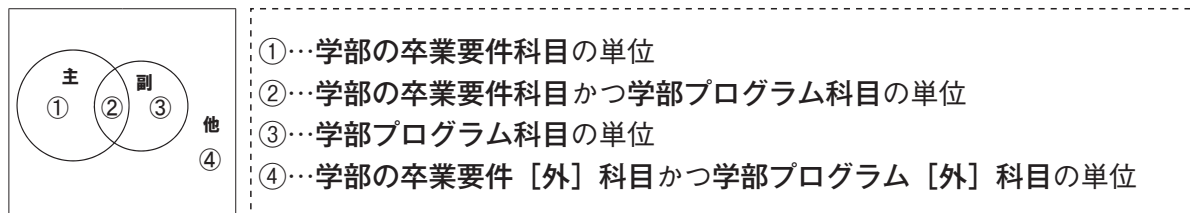
◆学部プログラム

「学部プログラム」は、所属学部・学科以外の内容や所属学科の専門性を生かすための関連分野を学ぶプログラムです。よって、プログラムの要件単位数を満たしても、所属学部・学科の卒業要件単位と重複する（内数として利用される）単位のみでは同プログラムを修了したと認定されず、【制度上の最低修得単位数の半数以上】は、当該プログラムのための単位として修得する必要があります。すなわち、レギュラープログラムにおいては【12単位以上】、ショートプログラムにおいては【6単位以上】は、学部・学科の卒業要件ではない単位、あるいは卒業要件単位となる科目で卒業のために利用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があります。

なお、プログラム科目が所属学部・学科以外の構成科目でも、同学部が規定する申請を行うことにより、卒業要件単位に算入することができる場合がありますが、当該科目を卒業要件の内数として利用する場合は、それ以外に単位の上乗せが必要となる場合があることに注意が必要です。

図解例



修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



所属学部の卒業要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

- 条件1：学部プログラムの修了要件単位を満たすこと。
- 条件2：『①+②+③ \geq (A)+12 (レギュラープログラム) あるいは 6 (ショートプログラム)』を満たすこと。
(例. 学部プログラムを申請し、(A)=126の場合、「138単位以上」)
学部プログラム科目の単位と、所属している学部の卒業要件単位との重複は認められるが、学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に当該学部プログラム修得のために必要な単位数の半数以上の単位を修得することが必要。
- 条件3：所属学部を卒業すること。


実際の履修例 (外国語学部生の例)^{※2}

所属学部の卒業要件単位 () が126単位であり、
申請した「学部プログラム」の修了要件単位数 () が24単位の場合
(つまりレギュラープログラムの場合)

ケース1

学部卒業要件の単位をプログラム修了要件とは別に修得している場合




→学部を卒業し、プログラムも修了可能である。
なお、③24単位は、学部の卒業要件となる科目でも可。

ケース2

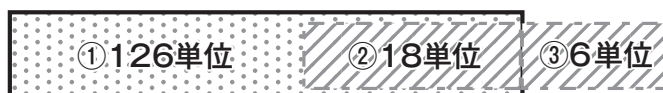
学部卒業要件とプログラム修了要件で、12単位が重複する場合




→学部を卒業し、プログラムも修了可能である。
なお、③12単位は、学部の卒業要件となる科目でも可。

ケース3

学部卒業要件とプログラム修了要件で、18単位が重複する場合



→学部を卒業できるが、プログラムは修了不可である。
この場合、上図の状態からさらに ③6単位を追加することが必要。
同単位は学部の卒業要件となる科目でも可。ただし、18単位の内訳については学生便覧で確認すること。

ケース4

学部卒業要件とプログラム修了要件で、24単位が重複する場合



→学部・プログラムともに卒業・修了不可である。

(※2) ここで紹介する履修例は、外国語学部のもので、文学部、人間科学部、法学部、経済学部については、20頁のQ&Aを参照の上、各学部に確認してください。

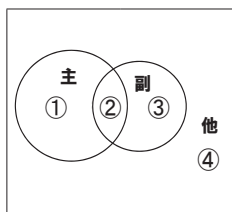
◆大学院プログラム

「大学院プログラム」は、所属研究科・専攻以外の内容や主専攻の専門性を生かすための関連分野を学ぶプログラムです。よって、プログラムの要件単位数を満たしても、所属研究科・専攻の修了要件単位と重複する（内数として利用される）単位のみでは同プログラムを修了したと認定されず、【制度上の最低修得単位数の半数以上】は、当該プログラムのための単位として修得する必要があります。すなわち、【7単位以上】は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で、修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があります。

なお、プログラム科目が所属研究科・専攻以外の構成科目でも、同研究科が規定する申請を行うことにより、修了要件単位に算入することができる場合がありますが、当該科目を修了要件の内数として利用する場合は、それ以外に単位の上乗せが必要となる場合があることに注意が必要です。

図解例

修得した単位を下記の区分①～④に分けた場合、



- ①…研究科の修了要件科目の単位
- ②…研究科の修了要件科目かつ大学院プログラム科目の単位
- ③…大学院プログラム科目の単位
- ④…研究科の修了要件〔外〕科目かつ大学院プログラム〔外〕科目の単位

研究科の修了要件単位数を「(A) 単位」とすると、以下の3つの条件をすべて満たすことが必要です。

- 条件1：大学院プログラムの修了要件単位を満たすこと。
- 条件2：『①+②+③ \geq (A)+7』を満たすこと。
(例. 大学院プログラムを申請し、博士前期課程で (A)=30の場合、「37単位以上」)
大学院プログラム科目の単位と、所属している研究科の修了要件単位との重複は認められるが、研究科の修了に必要な最低修得単位数以外に最低7単位は、研究科の修了要件ではない当該大学院プログラムの単位を修得することが必要。
- 条件3：大学院を修了すること。

(2) プログラム履修申請前の修得単位の扱いについて

プログラムで定める授業科目をプログラムの申請以前に履修している場合は、既に修得している単位がプログラムの修了要件単位として認定されることがあります。詳細については各プログラム実施部局にお問い合わせください。

6 Q & A

履修希望者および実際の履修生よりいただいた質問とその回答を紹介します。

募集・申請

Q：募集人員の「若干名」とは、何名程度の想定ですか？

A：募集人員「若干名」の人数想定としては、1～10名程度を想定しており、各プログラムへの応募者数や応募者の成績等を基に、プログラムごとに決定されます。

Q：なぜ、募集人員を若干名に限るのですか？

A：学部プログラムについては、文学部、人間科学部、外国語学部、法学部、経済学部の専門教育科目の授業を他学部の学生が履修するという形で開講するものであるため、教室の定員や授業効果等の観点から、各プログラムとも募集人員を「若干名」に限ることとしています。

Q：現在開設されているプログラムの採用者数は何名ですか？

A：以下のとおりです。

平成29年度（合計55名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 4名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 6名

「人間科学（共生の生態）」 10名

「法学・政治学」 8名

「経済学・経営学」 8名

「英語・英米文化学」 19名

平成28年度（合計31名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 3名

「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」 7名

「人間科学（共生の生態）」 10名

「法学・政治学」 7名

「経済学・経営学」 4名

平成27年度（合計32名）

「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」 9名

「人間科学（共生の生態）」 9名

「法学・政治学」 8名

「経済学・経営学」 6名

Q：海外渡航などで期限までに成績証明書を取得できない場合はどうすればよいですか？

A：所属学部の教務係に申し出てください。正当な理由と認められれば、代理で成績証明書を取得し該当学部に提出します。

Q：今年度不採用の場合、来年度に応募することは可能ですか？

A：2年次を募集対象としてるプログラムは、2年次しか応募できません。3年次を募集対象としているプログラムでは3年次の応募は可能です。しかしながら対象となる年次が変更される可能性がありますので、応募の際にはこの点を必ず確認してください。

履修者の選考

Q：履修者の選考方法や選考基準は、具体的にはどのようなものですか？

A：各学部プログラムの履修者は、次の方法で選考されます。

〈人文学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

〈人間科学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。

〈英語・英米文化学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。必要に応じて面接を課すこともあります。

〈法学・政治学〉

履修希望者多数の場合は、入学以降の成績（GPA）の上位者から順に履修の許可を与えます。

〈経済学・経営学〉

履修申請書（志望理由）および成績等の審査の結果を総合して選考します。希望者多数の場合は、面接を課すこともあります。

Q：学部プログラムを履修するには、どの程度のGPAが必要ですか？

A：各プログラムともGPAの基準は設けられていません。

Q：成績の審査がGPAにより行われる場合、修得単位数は考慮されますか？

A：成績について、「法学・政治学プログラム」においては、入学以降の成績のGPAにより審査が行われますが、その他のプログラムにおいては、成績の内容について総合的な審査が行われます。

なお、GPAは以下の計算式により算出されます（小数点第3位以下切り捨て）。

$$\frac{((\text{各学期に評価を受けた各授業科目で得たGPA} \times \text{当該授業科目の単位数}) \text{の合計}) \text{の総和}}{((\text{各学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計}) \text{の総和})}$$

Q：法学部でだけ、なぜ、GPAのみの判断で選考がなされるのですか？

A：選考方法は各プログラムの開講学部が決めることになっています。法学部としてはGPAが選考の基準としてはもっとも客観的であるという理由から、GPAによる選考をおこなうことにしました。なお、応募者および採用者の平均GPA等の公開はしていません。

カリキュラム・授業

Q：プログラム科目の時間割はいつ発表されるのですか？

A：各プログラムの科目の時間割の発表予定時期は次のとおりです。

〈人文学〉

平成30年3月初旬にKOAN上で公表予定です。

〈人間科学〉

平成30年2月初めごろに人間科学部ホームページに掲載します。なお、その後に一部変更される場合もあります。

〈英語・英米文化学〉

平成30年3月下旬です。

〈法学・政治学〉

平成30年3月下旬です。

〈経済学・経営学〉

平成30年1月末に経済学部のサイトにて公表します。

Q：授業科目にⅠやⅡ、1や2がついているものは、Ⅰや1から履修した方がよいですか？

A：〈人文学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈人間科学〉

特にシラバスで断りがない限りは、Ⅱや2を先に履修することも、またⅡや2だけを履修することもできます。

〈英語・英米文化学〉

ⅠやⅡなどのローマ数字は講義内容の相違を示しており、履修すべき順を表しているわけではありません。

〈法学・政治学〉

授業科目ごとに異なりますので、各自シラバスで確認してください。

〈経済学・経営学〉

基本的に履修の順番は問いませんが、シラバス等により、「1」→「2」の順に履修することが望ましいとされている授業もあります。

Q：経済学・経営学プログラムに置いては、数学的知識はかなり必要ですか？（理系出身ではないので不安があります。） また、マーケティングの授業があるようですが、講義形態の授業だけでなく、ワークショップのような参加型の授業、また実際に商品開発、マーケティングに取り組むことはありますか？

A：数学の知識は必要ですが、その程度は、授業によって異なります。数学A、数学Bで使われている教科書も参照してください。（石村園子『やさしく学べる微分積分』（共立出版）（数学A）、藤田岳彦・石井昌宏『穴埋め式 線形代数 らくらくワークブック』（講談社）（数学B）、など）。またマーケティングは、学部の授業では、講義形態となります。

Q：経済学・経営学プログラムについて、1年生時に「経済学A」および「経済学B」を履修していなくても、応募は可能ですか？

A：応募は可能です。ただし、「経済学A」および「経済学B」を修得することは、本プログラ

ムの前提となっていますので、2年次に修得することが望まれます。

Q：「経済学・経営学」プログラムの選択必修科目と選択科目において、履修の順番はありますか？

A：経済学部生向けには、選択必修1、選択必修2、選択科目の区分があります。基本的には、この順番で履修することが想定されています。区分ごとの科目群は下記URLを参照してください。

選択必修1：www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/HTML/gakubu_senhitsu1.htm

選択必修2：www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/HTML/gakubu_senhitsu2.htm

選択科目：www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/HTML/gakubu_sentaku.htm

Q：「経済学・経営学」プログラムに集中講義があればありがたいのですが、その予定はありますか？

A：選択必修科目に関しては、経済学部生の多くが履修するため、集中講義という形で実施する予定はありません。選択科目については、担当教員の都合により開講される場合があります。下記URLを参照してください。

経済学部 専門教育科目シラバスリンク：

www.econ.osaka-u.ac.jp/academics/u_credit.html

※なお、学部により集中講義の日程が異なるため、他学部の集中講義期間が外国語学部の通常授業期間にあたる場合があります。日程が重なった場合、履修できない可能性があります。

Q：経済学・経営学プログラムにおいては、高校における数Ⅲは必要ですか？

A：微分積分については高校の文系数学程度の知識が必要です。行列・ベクトルについては数Ⅲ+ α な内容が必要な科目があります。特に、選択必修科目の統計や選択科目のエコノメトリックス関連、金融工学系の科目を専門に勉強したい場合は必要です。ミクロ・マクロなど経済学の基本的分野ではそれほど使うことはありません。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムにおいて、基礎科目（概論）とその他の科目について、履修の順番はありますか？

A：構成科目の履修の順序を特に決めていません。ただし、まずは「基礎科目」を履修することが望ましいとされます。

Q：人間科学（共生の生態）プログラムでは、数学の知識は必要ですか？

A：特に必要ありません。

Q：箕面キャンパスで遠隔受講することができる授業科目は何科目くらいありますか？

A：平成28年度および平成29年度には、次に挙げる遠隔配信授業が開講されました。

【平成29年度の遠隔配信授業】

〈人文学〉

「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」（春～夏、秋～冬学期、木曜3限）

〈人間科学〉

「文明動態学」（春～夏学期、水曜5限）

- 「臨床死生学・老年行動学」(秋～冬学期 木曜 1 限)
- 〈法学・政治学〉
 - 「行政法 1」(春～夏学期、月 3 限)
 - 「民法 1」(春～夏学期、月曜 4 限・金曜 3 限)
 - 「特別講義 (21世紀の東アジアと歴史問題) (春～夏学期 木 2 限)
 - 「国際私法」(秋～冬学期 火曜 4 限)
- 〈経済学・経営学〉
 - 「経営計算システム」(春～夏学期 月曜 4 限・火曜 3 限)
 - 「経済史」(秋～冬学期 月曜 3 限・水曜 1 限)

【平成28年度の遠隔配信授業】

- 〈人文学〉
 - 「世界の中のアジア史」「ヨーロッパの歴史Ⅲ」(1、2 学期、木曜 3 限)
- 〈人間科学〉
 - 「動態地域論Ⅰ」(1 学期、水曜 5 限)
 - 「動態地域論Ⅱ」(1 学期、月曜 2 限)
 - 「比較思想史」(2 学期、火曜 4 限)
 - 「国際協力学Ⅱ」(2 学期、水曜 3 限)
- 〈法学・政治学〉
 - 「商法 2」(1 学期、月曜 4 限・木曜 1 限)
 - 「経済法」(1 学期、水曜 2 限)
 - 「外交政策論」(1 学期、金曜 3 限)
 - 「行政法 3」(2 学期、火曜 3 限)
 - 「国際私法」(2 学期、火曜 4 限)
- 〈経済学・経営学〉
 - 「経営計算システム」(1 学期、月曜 4 限・水曜 2 限)

履修・修了要件

Q：大阪大学在学中に 1 年間留学したいと考えていますが、MLE の履修（申請）は可能ですか？また、修了することも可能ですか？

A：今後、外国の大学に留学を予定している学生であっても、本プログラムの履修（申請）は可能です。（ただし、2 年次の第 1 学期からの留学を考えている場合は、プログラムの履修申請時に担当係に相談してください。）

外国の大学に留学中は、大阪大学の授業科目（プログラム科目を含む）を履修（単位修得）することはできませんが、卒業までの間に履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、「学部プログラムの修了」ということとなります。

例えば、大阪大学を休学しないで 1 年間留学し、在学 4 年間での（学部の）卒業を考えている場合は、2 年次から 4 年次までの間のうち大阪大学に「在学」する 2 年間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。なお、大阪大学を「休学」して留学する場合は、2 年次以降、大阪大学に「在学」する 3 年（以上の）間で、履修プログラムの修了要件を満たすことができれば、学部プログラムを修了することができます。

Q：プログラム科目の単位を落とした場合、学部プログラムの履修資格を失うなどのペナルティはありますか？

A：学部プログラムの履修が認められた学生については、基本的に同一学部在学中は学部プログラムの履修資格を失うことはありません。

なお、卒業時までには学部プログラムの修了要件を満たすことができなかった場合は、修了認定証の交付を受けることはできません。

Q：学部プログラムの履修生として決定された後に、（例えば、プログラムの履修の途中で）プログラムの履修をやめることは可能ですか？

A：やむを得ない事情で履修を取り下げたい場合は、外国語学部のMLE担当者まで連絡の上、履修取り下げ願を提出してください。ただし、履修開始の次年度以降から受け付けます。

Q：英語・英米文化学プログラムにおいて、重複履修は可能でしょうか？

A：学部プログラムの修了としては、担当教員に内容を確認し許可を得れば、重複履修は可能です。ただし、重複履修した単位が卒業要件に含まれるかどうかについては、所属学部の教務係に確認してください。

成績・単位

Q：MLEで履修した授業科目の成績は、GPAに加算されるのですか？

A：基本的にGPAの算出に含めます。

GPAの算出の対象となる授業科目については、「大阪大学におけるグレード・ポイント・アベレージ制度に関する要項」において、共通教育系科目、専門教育系科目、国際交流科目、コミュニケーションデザイン科目及びグローバルコラボレーション科目のうち、大阪大学学部学則第10条の7第2項に基づく試験の成績の評価を行う授業科目であって、『各学部において卒業要件に算入することができる授業科目』とすると定められています。

Q：留学先大学で修得した授業科目の単位をプログラム科目の単位として認定してもらうことは可能ですか？

A：答えは「不可」です。

大阪大学学部学則第10条の3では、「他の大学等における授業科目の履修」に関して、学部が教育上有益と認めるときは、学生が外国の大学の授業科目を履修して修得した単位を（所属学部の）卒業に要する単位に算入することができると規定されています。

学生が留学先大学で修得した授業科目の単位（以下「留学単位」といいます。）は、所属学部の卒業要件単位（所属学部の専門教育科目の単位）としては認定することは可能なのですが、他学部の専門教育科目の単位として認定することはできません。

MLEのプログラム科目は、授業を開設する学部（つまり、他学部）の専門教育科目となるため、留学単位は、MLEの修了要件単位として認定することはできません。

Q：たとえば「法学・政治学」プログラムの履修生が、留学で修得した「法学・政治学」関連の単位は、法学部で認定してもらうことは可能ですか？

A：留学中に修得した単位は、所属学部にも単位互換の申請をすることができます。従って、法学部のみならず、ある学部が他学部にも所属する学生の単位を認定することはありません。

Q：プログラム科目として修得した授業科目の単位を教職課程の単位とすることは可能ですか？

A：当該プログラム科目の単位が、所属学部（例えば、外国語学部）において取得することが可能な教育職員免許状に係る「教科に関する科目」等の単位として有効な場合については、教職課程の単位とすることは可能です。ただし、所属学部以外（他学部）で修得した単位となるため、教職課程の単位とする場合については、所属学部の教務係に相談するようにしてください。

Q：現在、「日本法の諸問題（Topics in Japanese Law）」を履修していますが、法学・政治学プログラムの「特別講義（Topics in Japanese Law）」の単位として認定されますか？

A：ご質問の「日本法の諸問題（Topics in Japanese Law）」は、国際交流科目として開講されているものです。したがって、法学・政治学プログラムの「特別講義（Topics in Japanese Law）」の単位としては認定しません。

なお、同様に、国際交流科目の「比較法の諸問題（Topics in Comparative Law）」についても、法学・政治学プログラムの「特別講義（Topics in Comparative Law）」の単位としては認定しません。

Q：学部プログラムにおいて、制度上の最低修得単位の半数以上は、学部・学科の卒業要件ではない単位、あるいは卒業要件単位となる科目で卒業のために利用する単位数以上の余分に追加された単位である必要があるということですが、仮に余分に修得した単位を卒業要件単位に組み込みたい場合、何単位をどの科目に組み込めるのでしょうか？

A：「所属学部以外の専門教育科目の単位」の取扱いについては、学部ごとに細かく決められていますので、ここで詳細にわたって説明できませんが、以下を参考に、詳細についてはそれぞれの所属学部にお問い合わせください。

※参考

〈文学部〉

24単位まで選択科目として認められることがある。

ただし、詳細は文学部「学生便覧」を参照すること。

〈人間科学部〉

10単位を限度として自由選択科目の単位として算入することができる。

ただし、詳細は人間科学部「学生便覧」を参照すること。

〈外国語学部〉

18単位を超えない範囲で選択科目として算入することができる。

ただし、詳細は外国語学部「学生便覧」を参照すること。

〈法学部〉

24単位を限度として選択科目として算入することができる。

ただし、詳細は法学部「学生ハンドブック」を参照すること。

〈経済学部〉

12単位を限度として卒業に要する単位数に算入できる。

ただし、詳細は経済学部「学生便覧」を参照すること。

履修のメリット

Q：MLEの修了は、就職等において有利にはたりますか？

A：本プログラムは、複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的として開設するものですので、例えば、MLEの学部プログラムを修了すると、卒業の際に、学士の学位記に加えて、大阪大学総長と学部プログラムの開設学部長の連名による学部プログラムの修了認定証が交付されるため、就職エントリーシート等に記載する資格の一つとして、学位等に加えて、「大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム（〇〇〇学）修了」と記載することができ、自己PRの材料になり得ると考えます。

その他

Q：英語・英米文化学プログラムを履修中に、外国語学部以外の他の文系学部へ転部した場合、このプログラムの履修の継続は可能なのでしょうか？

A：可能です。転部の際には、MLE担当者に連絡してください。

Q：大学院プログラムについて、たとえば文学部から人間科学研究科に進学するといったように、卒業学部と異なる（外国語学部を除く）、言語文化研究科以外の文系研究科（文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科）に進学した場合、大学院プログラムは履修可能なのでしょうか？

A：文学部、人間科学部、法学部、経済学部で学部プログラムを修了して卒業した学生が、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、国際公共政策研究科のうちで、卒業学部と異なる研究科に進学した場合、大学院プログラムは履修可能です。

Q：高等司法研究科へと進学した場合、大学院プログラムは履修できないのでしょうか？

A：高等司法研究科はMLEの枠組みに含まれませんので、履修は不可能です。

平成30年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）学部プログラム紹介

MLE 学部プログラム一覧

	プログラム名称	開設部局	募集対象者	掲載頁
1	人文学 (グローバル・アジア・スタディーズ)	文 学 部	平成30年度に外国語学部外国語学科 の2、3年次に在学する正規学生	23
2	人文学 (グローバル・ユーロ・スタディーズ)			24
3	人間科学（共生の生態）	人間科学部	平成30年度に外国語学部外国語学科 の2年次に在学する正規学生	25
4	法学・政治学	法 学 部	平成30年度に外国語学部外国語学科 の2年次に在学する正規学生	26
5	経済学・経営学	経 済 学 部	平成30年度に外国語学部外国語学科 の2年次に在学する正規学生	27
6	英語・英米文化学	外国語学部	平成30年度に文学部、人間科学部、 法学部、経済学部の2、3年次に在 学する正規学生	28
7	スペイン語・スペイン文化学			31

※1～6 レギュラープログラム

7 ショートプログラム

文学部【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】

プログラム名	和文 人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 英文 Humanities (Global Asian Studies)
開設学部	文学部
募集対象者	平成30年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 ※本学部プログラムを所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならぬ。
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）に関するプログラムを提供する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	アジアを対象として、思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法を学び、幅広い人文学的教養と高い専門性を備えたグローバル人材としての能力を涵養する。 中国、台湾、韓国、インド、東南アジア諸国などはそれぞれ独自の文化と歴史を持っているが、グローバル化が進む現在において、近隣諸国や日本、欧米との関係性において理解することが必要となっている。各国の政治・経済活動、宗教、生活様式、価値観やモノの見方は歴史的に形成されてきたものであり、様々な文化的事象の歴史的研究は不可欠であるが、さらにはひとつの国や地域を越えて地球規模の相互運関性の中に位置付けることによってダイナミックな形成過程を明らかにでき、外国語学部で専門的に学ぶ言語、及びその言語が使用されている国・地域の枠を超えて、アジアを世界的なコミュニケーション・ツールとして機能している英語の運用能力の習得は欠かせない。本プログラムには英語による授業を組み入れる予定である。
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を課すこともある。
前提知識の目安	アジアを対象とした思想、歴史、文学、芸術などの人文学について、学部一年生程度の基礎知識を有していること。
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、文学部教務係へ、平成30年1月4日（木）～2月1日（木）の期間内に学部プログラム履修申請書を提出の上、平成30年3月5日（月）までに大阪大学の成績証明書提出すること。 学部プログラム履修申請書の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	文学部教務係 TEL: 06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 Email: bunsohuhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数		開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選択			
00Z002 00Z003	世界の中のアジア史	2		春～夏 秋～冬	3、4年	左記の「必修科目」1科目2単位を修得すること。同一科目の重複履修可（担当教員に確認すること。）2単位を超えて修得した場合は、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができず。
00Z001	グローバルフィロソフィー	2		春～夏	2、3、4年	
00Z004	グローバル・アジア研究Ⅰ	2		春～夏	3、4年	
00Z005	グローバル・アジア研究Ⅱ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z006	グローバル・アジア研究Ⅲ	2		不開講	2、3、4年	
00Z014	広域アジア史Ⅰ	2		春～夏	3、4年	
00Z015	広域アジア史Ⅱ	2		秋～冬	3、4年	
00Z016	広域アジア史Ⅲ	2		春～夏	3、4年	
00Z017	広域アジア史Ⅳ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z018	広域アジア史Ⅴ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z008	アジアの思想史Ⅰ	2		春～夏	2、3、4年	
00Z009	アジアの思想史Ⅱ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z019	アジアの思想史Ⅲ	2		通年	2、3、4年	
00Z020	アジアの思想史Ⅳ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z010	アジアの芸術史	2		秋～冬	2、3、4年	左記の「選択必修科目」のうち22単位以上修得すること。同一科目の重複履修可（担当教員に確認すること。）
00Z021	アジアの文化と社会Ⅰ	2		集中	2、3、4年	
00Z022	アジアの文化と社会Ⅱ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z023	中国語圏文学Ⅰ	2		春～夏	2、3、4年	
00Z024	中国語圏文学Ⅱ	2		春～夏	2、3、4年	
00Z025	中国語圏文学Ⅲ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z026	中国語圏文学Ⅳ	2		春～夏	2、3、4年	
00Z027	中国語圏文学Ⅴ	2		秋～冬	2、3、4年	
00Z028	中国の文化と社会Ⅰ	2		不開講	2、3、4年	
00Z029	中国の文化と社会Ⅱ	2		春～夏	3、4年	
00Z030	中国の文化と社会Ⅲ	2		秋～冬	3、4年	

※開講科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

文学部【人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）】

プログラム名称	和文 英文	人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ） Humanities (Global Euro Studies)
開設学部	文学部	
募集対象者	平成30年度に外国語学部外国語学科の2・3年次に在学する正規生	
修了要件	<p>本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、外国語学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。</p>	
趣旨・概要	<p>「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部高橋断断型教育プログラムである。</p> <p>本プログラムは、そのうち学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人文学に関するプログラムを提供する。</p> <p>グローバル化が進展する今日において、ひとつの国や地域に関する専門的知識をもちながら、それを含む広い領域に関する複数の学問分野について学ぶことは、ますます重要な課題となっている。本プログラムでは、ヨーロッパの古代から現代までのあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学的基础知識、理論、方法論を学び、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成することを教育目標とする。</p>	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	<p>本プログラムの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般の基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題について専門的な知識を習得している。 ④ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。 <p>*構成科目の備考欄①～④と対応している。</p>	
カリキュラムの構成	<p>上記の到達目標（修了時に身に付けるべき能力）を達成するために、以下の科目群を配置し、系統的履修を促す。</p> <p>ヨーロッパ思想とヨーロッパ芸術に関する概説講義を必修科目とし①、「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの現代」という5つの科目群を選択必修科目と位置づける。これにより、履修者の関心に応じて、ひとつの学問分野において地域横断的な知見を得る(②)とともに、ひとつの国や地域に関する分野横断的な知識の習得(③)が可能となる。さらには、ヨーロッパをアジア(と日本)との関係のなかに位置づける科目も配し、世界全体から見たヨーロッパの特殊性への意識をも涵養する。また、英・独・仏語の文献講義授業や、ネイティブ教員による英・独・仏語の授業も組み込み、高度な外国語運用能力の習得を促す(④)。</p>	
履修資格・条件	<p>ヨーロッパの歴史と現代、ならびにヨーロッパの哲学・歴史・文学・芸術に関心があり、それらの領域に関わる専門研究に従事する意欲を持つ学生を歓迎する。</p> <p>募集人員は若干名で、履修申請書(志望理由)及び成績等の審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。希望者多数の場合は、面接を講ずることもある。</p>	
前提知識の目安	<p>英語に加えて、ドイツ語、フランス語、イタリア語などのヨーロッパ諸言語の少なくとも一言語に関する基礎的な文法事項を修得していることが望ましい。</p>	
履修申請	<p>本学部プログラム履修を希望する者は、文学部教務係へ、平成30年1月4日(木)～2月1日(木)の期間内に学部プログラム履修申請書を提出の上、平成30年3月5日(月)までに大阪大学の成績証明書提出すること。学部プログラム履修申請書の用紙は、KOANの掲示板から入手できる。</p>	
問合せ先	<p>文学部教務係 TEL: 06-6850-5084 FAX: 06-6850-5087 E-mail: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp</p>	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
00Z201	グローバル・ユーロ思想史	2	春～夏	2, 3, 4年	左記の「必修科目」2科目4単位の修得すること。同一科目の重複履修可(担当教員に確認すること)。
00Z202	グローバル・ユーロ芸術史	2	秋～冬	2, 3, 4年	4単位を超えて修得した場合、超過した単位を「選択必修科目」の単位とすることができる。
00Z203	ヨーロッパの哲学I	2	春～夏		①
00Z204	ヨーロッパの哲学II	2	秋～冬		
00Z205	ヨーロッパの哲学III	2	秋～冬	2, 3, 4年	
00Z206	ヨーロッパの哲学IV	2	春～夏		
00Z207	ヨーロッパの哲学V	2	秋～冬		
00Z208	ヨーロッパの哲学VI	2	不開講		
00Z209	ヨーロッパの歴史I	2	春～夏	3, 4年	
00Z210	ヨーロッパの歴史II	2	秋～冬		
00Z211	ヨーロッパの歴史III	2	秋～冬	2, 3, 4年	
00Z212	ヨーロッパの歴史IV	2	春～夏		
00Z213	ヨーロッパの歴史V	2	秋～冬	3, 4年	
00Z216	ヨーロッパの文学I	2	春～夏		
00Z217	ヨーロッパの文学II	2	秋～冬		
00Z218	ヨーロッパの文学III	2	春～夏		
00Z219	ヨーロッパの文学IV	2	春～夏		
00Z220	ヨーロッパの文学V	2	秋～冬		
00Z221	ヨーロッパの文学VI	2	春～夏		
00Z222	ヨーロッパの文学VII	2	不開講		
00Z223	ヨーロッパの文学VIII	2	春～夏		
00Z224	ヨーロッパの文学IX	2	秋～冬		
00Z225	ヨーロッパの文学X	2	春～夏		
00Z226	ヨーロッパの文学XI	2	春～夏		
00Z227	ヨーロッパの文学XII	2	秋～冬	2, 3, 4年	
00Z228	ヨーロッパの文学XIII	2	春～夏		
00Z229	ヨーロッパの文学XIV	2	秋～冬		
00Z230	ヨーロッパの文学XV	2	春～夏		
00Z232	ヨーロッパの芸術I	2	春～夏		
00Z233	ヨーロッパの芸術II	2	春～夏		
00Z234	ヨーロッパの芸術III	2	秋～冬		
00Z235	ヨーロッパの芸術IV	2	春～夏		
00Z240	ヨーロッパの現代I	2	秋～冬		
00Z236	ヨーロッパの現代II	4	春～夏		
00Z237	ヨーロッパの現代III	2	不開講		
00Z238	ヨーロッパの現代IV	2	春～夏		
00Z239	ヨーロッパの現代V	2	秋～冬		

※構成科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

人間科学部【人間科学（共生の生態）】

プログラム名	和文 人間科学（共生の生態） 英文 HUMAN SCIENCES (WHAT IS LIVING TOGETHER?)
開設学部	人間科学部
募集対象者	平成30年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正規学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、外国語学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、人間科学（共生の生態）に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供している。多様な文化的・社会的背景をもった人々が、国内外で出会う状況が生まれてくる今日、災害や紛争といった状況下でももちろん、日常生活においても共生が求められている。本プログラムでは人間科学部の多様な専門性を活かして、さまざまな角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができる。 ③共生に関して学んだことを応用できる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために6つの科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 ・基礎科目群 人間科学部で学ぶための基礎的な科目群 ・行動科学科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 ・社会科学科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 ・教育科学科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 ・共生学科目群 共生そのものを考える科目群 ・G30科目群 英語による科目群
履修資格・条件	募集人員は若干名で、履修申請書（志望理由）及び成績審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。
前提知識の目安	前提知識は不要
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、人間科学部教務係へ、平成30年1月4日（木）～2月1日（木）の期間内に学部プログラム履修申請書を提出の上、平成30年3月5日（月）までに大阪大学の成績証明書提出すること。学部プログラム履修申請書の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	人間科学部教務係 TEL: 06-6879-8012 FAX: 06-6879-8010 Email: kyomu@hus.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数	開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
	(基礎科目)				
010667	人間科学概論	2	春～夏	2年次春学期以降	
010723	自然科学と人間科学	2	春～夏	2年次春学期以降	
010724	人文科学と人間科学	2	春～夏	2年次春学期以降	
未定	行動学概論(心理学概論)	2	秋～冬	2年次秋学期以降	上記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
010669	社会学概論	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010670	教育学概論	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010671	共生学概論	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
	(行動学科目)				
未定	臨床死生学・老年行動学(福祉心理学)	2	秋～冬	3年次春学期以降	
010443	高齢者行動論	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010663	人間環境論	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010664	生涯環境論	2	春～夏	2年次秋学期以降	
未定	発達臨床心理学(障害者・障害児心理学)	2	春～夏	4年次春学期以降	上記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
010450	比較発達心理学	2	夏(集中)	2年次秋学期以降	
010602	豊後心理学	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
	(社会科学科目)				
010377	比較思想史	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010656	グローバル化と文化	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010616	人類学概論	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010378	比較社会学	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010170	現代社会学	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010518	比較福祉論Ⅰ	2	秋	2年次秋学期以降	
	(教育科学科目)				
010036	外国教育史	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010497	生涯教育学	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010654	人権教育論	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010648	教育学論(新開講)	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
	(共生学科目)				
010684	共生の人間学Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010685	共生の人間学Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010688	共生社会論Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010689	共生社会論Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010690	共生社会論Ⅲ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010693	共生行動論Ⅰ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010694	共生行動論Ⅱ	2	夏(集中)	2年次秋学期以降	
010697	共生教育論Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010698	共生教育論Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010701	国際協力学Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010702	国際協力学Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010705	多文化共生学Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010706	多文化共生学Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010709	地域創生論Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010710	地域創生論Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
010713	コンフリクトと共生Ⅰ	2	春～夏	2年次秋学期以降	
010714	コンフリクトと共生Ⅱ	2	秋～冬	2年次秋学期以降	
	(G30科目)				
Z26001	セクシャルティと教育 【平成30年度不開講】 (英名: Sexuality and Education)	2	秋～冬	3年次春学期以降	
Z26002	ジェンダーと教育 (英名: Gender and Education)	2	秋～冬	3年次春学期以降	上記の授業科目のうちから、2科目4単位以上修得すること。
Z26013	アジア人類学概論 (英名: Issues in Asian Anthropology)	2	秋～冬	3年次春学期以降	
Z26017	防災と国際協力 (英名: Disaster Prevention and International Cooperation)	2	春～夏	3年次春学期以降	「セクシャルティと教育」と「ジェンダーと教育」は、交互に隔年開講する。
Z26007	世界の貧困と開発 (英名: Global Poverty and Development)	2	春～夏	3年次春学期以降	
Z26024	高齢者心理学 (英名: Psychology of Aging)	2	秋～冬	3年次春学期以降	

※構成科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

法学部【法学・政治学】

●構成科目

プログラム名	和文 英文	法学・政治学 Law and Politics
開設学部	法学部	
募集対象者	平成30年度に外国語学部外国語学科の2年次に在学する正期学生	
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って、24単位以上修得すること。ただし、外国語学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならぬ。	
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部高構断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生プログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、法学・政治学に関するプログラムを提供する。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①法学・政治学について理解している。 ②法学・政治学について自分の意見を持ち、論じることができる。 ③法学・政治学を応用できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムでは、24単位以上の修得によって法学・政治学の中心部分を学ぶことができる。履修者には外国語による法学の学習機会も提供する。学習に必要なスキルを学ぶため、「法学系基本科目」、「国際法系科目」、「政治学系基本科目」、「外国語による授業科目」などの選択必修科目(10単位以上)が設定され、修得した能力をさらに発展させるため、「法学系」、「政治学系」などの選択科目が設定されている。選択必修要件以外の14単位(以上)は、選択必修科目、選択科目を問わず、科目表中のどの科目の履修によっても満たすことができる。ただし、「国際法系科目」と「外国語による授業科目」だけで24単位以上をとっても修了要件を満たすことにはならない。	
履修資格・条件	現代世界の喫緊の課題に取り組みグローバルに活躍する上で不可欠な、法学・政治学の専門的な知識の中核となる部分を獲得し、法学・政治学の領域にかかわる外国語能力を高めるようという意欲のある学生を歓迎する。募集人員は若干名。履修希望者多数の場合は、入学以降の成績(GPA)の上位者から順に履修の許可を与える。	
前提知識の目安	法学・政治学に関する大学初等レベルの知識を持っていることが望ましい。	
履修申請	本学部プログラム履修を希望する者は、法学部教務係へ、平成30年1月4日(木)～2月1日(木)の期間内に学部プログラム履修申請書を提出の上、平成30年3月5日(月)まで、大阪大学の成績証明書提出すること。 学部プログラム履修申請書の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	法学部教務係 TEL: 06-6850-5145 FAX: 06-6850-5089 Email: houkyoumu@law.osaka-u.ac.jp	

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
(法学系基本科目)					
026001	法学の基礎	2	春～夏	1年次以降	
026003	憲法入門	2	秋～冬	1年次以降	
020208	憲法1	4	春～夏	2年次以降	
020209	憲法2	4	秋～冬	2年次以降	
020210	行政法1	2	春～夏	2年次以降	
020211	行政法2	2	秋～冬	2年次以降	
026002	民法入門	2	春～夏	1年次以降	
020222	民法1	4	春～夏	2年次以降	
020223	民法2	4	秋～冬	2年次以降	
020224	民法3	4	春～夏	3年次以降	
(国際法系)					
020220	国際法1	2	春～夏	2年次以降	
020221	国際法2	2	秋～冬	2年次以降	
020301	国際法3	2	春～夏	3年次以降	
020047	国際経済法	2	春～夏	3年次以降	
020302	国際取引法	2	秋～冬	3年次以降	
(政治学系基本科目)					
026004	政治学の基礎	2	春～夏	1年次以降	
026005	国際関係論入門	2	秋～冬	1年次以降	
020063	政治学原論	4	春～夏	2年次以降	
020234	西洋政治思想史	4	春～夏	3年次以降	
020069	日本政治史	4	春～夏	2年次以降	
020309	アジア政治史	4	秋～冬	3年次以降	
(外国語による授業科目)					
020292	特別講義 (Topics in Comparative Law)	2	春～夏	3年次以降	
020291	特別講義 (Topics in Japanese Law)	2	春～夏	3年次以降	
020663	特別講義 (Topics in Comparative Law)	2	秋～冬	3年次以降	
020664	特別講義 (Topics in Japanese Law)	2	秋～冬	3年次以降	
020643	Special Lecture: Focal Points of Public Law and Private Law in Japan	2	(未定)	3年次以降	
(法学系)					
020212	行政法3	2	春～夏	3年次以降	
020213	行政法4	2	秋～冬	3年次以降	
020218	刑法1	4	春～夏	2年次以降	
020219	刑法2	4	秋～冬	2年次以降	
020021	刑事訴訟法	4	秋～冬	3年次以降	
020225	民法4	2	秋～冬	2年次以降	
020226	商法1	2	春～夏	2年次以降	
020227	商法2	4	春～夏	3年次以降	
020228	商法3	2	春～夏	3年次以降	
020320	民事訴訟法1	2	春～夏	3年次以降	
020321	民事訴訟法2	2	秋～冬	3年次以降	
020032	経済法	2	春～夏	3年次以降	
020111	労働法	4	秋～冬	3年次以降	
020257	社会保険法	2	春～夏	3年次以降	
020231	国際私法	2	秋～冬	3年次以降	
026301	国際環境法	2	秋～冬	3年次以降	
026302	国際人権法	2	(未定)	3年次以降	
020258	ヨーロッパ法	2	春～夏	3年次以降	
020323	中国法	4	秋～冬	3年次以降	
020096	日本の法制度	2	春～夏	1年次以降、 留学生対象、 大学院同時開講	
(政治学系)					
020064	政治過程論	4	春～夏	3年次以降	
020235	日本政治思想史	4	(不開講)	3年次以降	
020068	西洋政治思想史	4	秋～冬	3年次以降	
020070	国際政治学	4	(未定)	3年次以降	
020071	外交史	4	(未定)	3年次以降	
020073	行政学	4	春～夏	3年次以降	
020236	地方行政論	2	秋～冬	3年次以降	
020237	比較政治	4	春～夏	3年次以降	
026401	外交政策論	2	春～夏	3年次以降	
026402	安全保障政策論	2	(不開講)	3年次以降	
026403	平和学	2	春～夏	3年次以降	
026404	現代ヨーロッパ政治	2	春～夏	3年次以降	
026405	国際行動論	2	春～夏	3年次以降	
026406	国際機構論	2	春～夏	3年次以降	

※開講科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更する可能性があります。

経済学部【経済学・経営学】

プログラム名	和文 経済学・経営学 英文 Economics and Business Administration
開設学部	経済学部
募集対象者	平成30年度に外国語学部外国語学科の2年次に在籍する正期学生
修了要件	24単位以上 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、外国語学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならぬ。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局構断型教育プログラムである。 本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した外国語学部外国語学科の学生に対して、経済学・経営学に関するプログラムを提供する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に活用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、論じることができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身に付けるべき能力)を達成するために、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「経済学A」および「経済学B」の単位を修得すること を前提として、専門教育科目から24単位以上を修得することを要件とする。その際 には、経済学部の正規学生と同様に、基礎的な科目群(「マクロ経済」「ミクロ経済」 「経済史」「経営計算システム」「統計」)から3科目12単位を修得することを必修と する。(選択必修科目)。これにより、経済学・経営学の基本的な考え方を身に付け る。加えて、その他の関連科目(選択科目)から12単位、合計24単位以上を履修す ることと、応用力も涵養することを目標とする。
履修資格・条件	募集人員は若干名とする。履修申請書(志望理由)及び成績等の審査の結果を総合 して選考し、履修者を決定する。応募者多数の場合は、面接を課すこともある。選 考面接の日時等については、別途連絡する。
前提知識の目安	全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「経済学A」および「経済学B」の知識を 前提とする。また、全学共通教育科目・専門基礎教育科目の「数学A」および「数 学B」を履修していることが望ましい。
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、経済学部教務係へ、平成30年1月4日(木) ～2月1日(木)の期間内に学部プログラム履修申請書を提出の上、平成30年3月 5日(月)までに大阪大学の成績証明書を提出すること。 学部プログラム履修申請書の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページ から入手できる。
問合せ先	経済学部教務係 TEL:06-6850-5204 FAX:06-6850-5212 Email: kyorumu@econ.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
		必修	選択			
030101	(選択必修科目) マクロ経済	4		春～夏	2,3,4年	左記の授業科目のうち から、3科目12単位以 上修得すること。
030102	ミクロ経済	4		秋～冬	1,2,3,4年	
030103	経済史	4		秋～冬	1,2,3,4年	
030104	経営計算システム	4		春～夏	2,3,4年	
030105	統計	4		春～夏	2,3,4年	
030201	(選択科目) 財政	4		秋～冬	2,3,4年	
030202	金融	4		秋～冬	2,3,4年	
030203	国際貿易	4		秋～冬	2,3,4年	
030204	国際金融	4		秋～冬	2,3,4年	
030205	労働経済	4		集中(8月-9月)	2,3,4年	
030206	応用ミクロ経済	4		春～夏	2,3,4年	
030207	現代日本経済	4		春～夏	2,3,4年	
030208	経済発展	4		未定	2,3,4年	
030209	公共経済	4		春～夏	2,3,4年	
030210	エコノミクス	4		秋～冬	2,3,4年	
030211	日本経済史	4		春～夏	2,3,4年	
030212	西洋経済史	4		秋～冬	2,3,4年	
030223	経営倫理	2		秋～冬	2,3,4年	
030224	経営倫理	2		秋～冬	2,3,4年	
030271	財務会計1	2		秋～冬	2,3,4年	
030272	財務会計2	2		春～夏	2,3,4年	
030215	ファイナンス	4		秋～冬	2,3,4年	
030225	マーケティング1	2		春～夏	2,3,4年	
030273	マーケティング2	2		秋～冬	2,3,4年	
030274	経営科学基礎	2		秋～冬	2,3,4年	
030274	応用経営科学	2		秋～冬	2,3,4年	
030227	生産マネジメント基礎	2		秋～夏	2,3,4年	
030228	現代生産マネジメント	2		秋～夏	2,3,4年	
030232	データマイニング	2		春～夏	2,3,4年	
030233	テキストマイニング	2		秋～冬	2,3,4年	
030229	経営情報システム	4		春～夏	2,3,4年	
030221	経営史	4		春～夏	2,3,4年	
030222	日本経営史	4		春～夏	2,3,4年	
	各論	2又は4		春～夏 または 秋～冬	2,3,4年	
030301	経済思想	2		秋～冬	3,4年	
030302	経済学部史	4		秋～冬	3,4年	
030303	公共政策	2		春～夏	3,4年	
030304	数理経済	2		秋～冬	3,4年	
030307	事業創造論	2		春～夏	3,4年	
030308	戦略論	2		秋～冬	3,4年	
030306	管理会計	4		秋～冬	3,4年	
030318	企業経済学1	2		春～夏	3,4年	
030319	企業経済学2	2		春～夏	3,4年	
030320	経営シミュレーション	2		未定	3,4年	
030330	上級マクロ経済1	2		春～夏	3,4年	
030331	上級マクロ経済II	2		秋～冬	3,4年	
030332	上級ミクロ経済I	2		春～夏	3,4年	
030333	上級ミクロ経済II	2		秋～冬	3,4年	
030334	上級エコノメトリックスI	2		春～夏	3,4年	
030335	上級エコノメトリックスII	2		秋～冬	3,4年	
030309	上級統計	2		春～夏	3,4年	
030310	ゲーム解析論	2		春～夏	3,4年	
030338	商法1	2		秋～冬	3,4年	
030339	経済法	2		春～夏	3,4年	
	特殊講義	2又は4		春～夏 または 秋～冬	3,4年	
	研究ゼミナー(ゼミ)	4		春～冬	3,4年	

※構成科目は平成29年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性がります。

※選択必修1以外の開講学期については、変更される場合があります。

※「各論」及び「特殊講義」は、各年度において、副題を付して開講し、副題を異にする場合は、それぞれについて所定の単位を付与します。

外国語学部【英語・英米文化】

プログラム名	和文 英語・英米文化 英文 English and Anglo-American Culture	外国語学部
開設学部	外国語学部	
募集対象者	平成30年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部の2、3年次に在学する正規学生	
修了要件	本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って24単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を12単位以上修得しなければならない。また、本プログラム修了時の1月末までに、TOEFL (PAPER) 580点以上のスコアを提出する(別表)外部検定試験のスコアを提出すること。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。本プログラムは、そのうちの学部学生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した文学部・人間科学部・法学部・経済学部の学生に対して、英語・英米文化に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い英語能力を涵養するとともに、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通暁した人材を育成することを旨とする。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①英語の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)に関して、別表にある所定の外部検定試験スコア相当の高い運用能力を有する。 ②英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、英語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学の英語の中級科目(1単位の実習)、上級科目(2単位の演習)および学部共通科目の英語科目(2単位の演習)によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、英語を修得して将来国際舞台で活躍することに意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書(志望理由)および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。プログラム構成科目の履修の際には、別表を参照し、所定のいずれかの外部検定試験のそれぞれの科目の基準を満たすスコアの写し(画像)を期限までに提出する必要がある。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手締きをする。なお、プログラムの履修申請にあたっては、特定の外部検定試験のスコア提出は不要とする。本プログラムへの登録が認められながらも科目履修において必要とされるスコアの提出が困難な者については、別途設置された準備コース(課外補習クラス)を受講することにより、プログラム履修開始年度の秋～冬学期以降の科目履修を目指すことができるものとする。	
前提知識の目安	本学部プログラムの履修を希望する者は、平成30年1月4日(木)～2月1日(木)の期間内に、MLE担当者(外国語学部実務室または豊中分室)へ「学部プログラム履修申請書」を提出の上、平成30年3月12日(月)までに、所属学部の教務係に大阪大学の「成績証明書」を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙は、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	
履修申請	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム担当者 TEL:072-730-5062 FAX:072-730-5057 Email: multilingua@lang.osaka-u.ac.jp	
問合せ先		

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数	必修	選必修	開講学期(4学期制)	配当学年	備考
101255	英語(語学) a (1) (兼中間講)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101265	英語(語学) b (1) (兼中間講)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101338	英語(文学) a (H) (兼中間講)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101339	英語(文学) b (H) (兼中間講)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101290	英語(文化) a (J) (兼中間講)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101299	英語(文化) b (J) (兼中間講)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101293	英語(コミュニケーション) a (F) (兼中間講)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101302	英語(コミュニケーション) b (F) (兼中間講)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101259	英語学 I a (G) (兼中間講)	2.0			春～夏	2、3、4年	①②
101269	英語学 I b (G) (兼中間講)	2.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101340	英語学 II a (E) (兼中間講)	2.0			春～夏	2、3、4年	①②
101341	英語学 II b (E) (兼中間講)	2.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101371	英米文化Ⅱb (A) (兼中間講)	2.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101366	英米文化Ⅱa (A) (兼中間講)	2.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101354	英語会話 I a (A) (兼中間講)	2.0			春～夏	2、3、4年	①②
101296	英語会話 I b (A) (兼中間講)	2.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101360	英語会話 II a (1) (兼中間講)	2.0			春～夏	2、3、4年	①②
101305	英語会話 II b (1) (兼中間講)	2.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101394	英語作文 I a (C) (兼中間講)	2.0			春～夏	2、3、4年	①②
101399	英語作文 I b (C) (兼中間講)	2.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101232	英語(語学) a (A)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101234	英語(語学) a (C)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101235	英語(語学) a (D)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101236	英語(語学) a (E)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101237	英語(語学) a (F)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101238	英語(語学) a (G)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101241	英語(語学) b (A)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101245	英語(語学) b (E)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101247	英語(語学) b (B)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101243	英語(語学) b (C)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101244	英語(語学) b (D)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101246	英語(語学) b (F)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101247	英語(語学) b (G)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101248	英語(語学) b (H)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101233	英語(語学) a (B)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101258	英語(文学) a (A)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101256	英語(文学) a (G)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101252	英語(文学) a (C)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101254	英語(文学) a (E)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101257	英語(文学) a (F)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101268	英語(文学) b (A)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101262	英語(文学) b (C)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101264	英語(文学) b (E)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101267	英語(文学) b (F)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101266	英語(文学) b (G)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101271	英語(文化) a (B)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101272	英語(文化) a (G)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101274	英語(文化) a (E)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101275	英語(文化) a (F)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101276	英語(文化) a (H)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101277	英語(文化) a (I)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101278	英語(文化) b (B)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101281	英語(文化) b (C)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101283	英語(文化) b (E)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101284	英語(文化) b (F)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101285	英語(文化) b (G)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101286	英語(文化) b (H)	1.0			春～夏	2、3、4年	①② [注]
101287	英語(文化) b (I)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①② [注]
101289	英語(コミュニケーション) a (B)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②
101291	英語(コミュニケーション) a (D)	1.0			秋～冬	2、3、4年	①②
101292	英語(コミュニケーション) a (E)	1.0			春～夏	2、3、4年	①②

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
101300	英語 (コミュニケーション) b (H)	1.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101301	英語 (コミュニケーション) b (D)	1.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101294	英語 (コミュニケーション) a (G)	1.0	春～夏	2、3、4年	①②
101295	英語 (コミュニケーション) a (H)	1.0	春～夏	2、3、4年	①②
101298	英語 (コミュニケーション) b (B)	1.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101301	英語 (コミュニケーション) b (E)	1.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101303	英語 (コミュニケーション) b (G)	1.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101323	英文学 I a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101308	英文学 I a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101306	英文学 I a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101307	英文学 I a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101401	英文学 I a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101249	英文学 I a (E)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101415	英文学 I a (F)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101311	英文学 I b (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101309	英文学 I b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101402	英文学 I b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101310	英文学 I b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101240	英文学 I b (E)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101416	英文学 I b (F)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101312	英文学 II a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101314	英文学 II a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101313	英文学 II a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101315	英文学 II a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101316	英文学 II a (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101318	英文学 II b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101319	英文学 II b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101386	英文学 II b (E)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101317	英文学 II b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101322	英文学 I a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101320	英文学 I a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101324	英文学 I b (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101326	英文学 I b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101327	英文学 I b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101328	英文学 II a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101329	英文学 II a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101330	英文学 II a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101382	英文学 II a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101331	英文学 II b (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101333	英文学 II b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101387	英文学 II b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101332	英文学 II b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101273	英米文化 I a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101270	英米文化 I a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101337	英米文化 I b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101334	英米文化 I a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101335	英米文化 I a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101336	英米文化 I b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101282	英米文化 I b (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101342	英米文化 II a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101343	英米文化 II a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101346	英米文化 III a (E)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101345	英米文化 III a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101288	英米文化 II b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101347	英米文化 III b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101279	英米文化 II b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101383	英米文化 III a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101253	英米文化 III a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101381	英米文化 III b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101261	英米文化 III b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101348	英米文化 IV a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101251	英米文化 IV a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
101263	英米文化 IV b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101350	英米文化 IV a	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101353	英米文化 IV b	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101349	英米文化 IV b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101352	英米文化 VI a	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101344	英米文化 II b (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101351	英米文化 IV b	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101355	英語会話 I a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101356	英語会話 I a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101357	英語会話 I a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101358	英語会話 I a (E)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101359	英語会話 I a (F)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101361	英語会話 I b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101365	英語会話 I b (F)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101362	英語会話 I b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101368	英語会話 II a	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101363	英語会話 I b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101364	英語会話 I b (E)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101367	英語会話 II a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101369	英語会話 II a (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101370	英語会話 II a (E)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101250	英語会話 II a (G)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101374	英語会話 II b (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101375	英語会話 II b (E)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101260	英語会話 II b (G)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101372	英語会話 II b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101373	英語会話 II b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101378	英語作文 II a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101403	英語作文 I a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101377	英語作文 I b (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101404	英語作文 I b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101395	英語作文 II a (B)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101376	英語作文 I a (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101321	英語作文 II a (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101325	英語作文 II b (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101379	英語作文 II b (A)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101400	英語作文 II b (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101811	Academic Presentation Course (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101813	Academic Presentation Course (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101814	Academic Presentation Course (B)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101816	Academic Presentation Course (E)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101816	Academic Presentation Course (G)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101817	Academic Presentation Course (H)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101933	Academic Writing Course (C)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101819	Academic Writing Course (D)	2.0	集中	2、3、4年	①②
101812	Academic Presentation Course (D)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101815	Academic Presentation Course (F)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101932	Academic Writing Course (A)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101820	Academic Writing Course (E)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101821	Academic Writing Course (F)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101822	Academic Writing Course (G)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②
101823	World English Seminar (C)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101824	World English Seminar (D)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101827	World English Seminar (E)	2.0	春～夏	2、3、4年	①②
101828	World English Seminar (F)	2.0	秋～冬	2、3、4年	①②

※構成科目の履修において必要とされるコアの提出が困難な場合は、課外補習コースとして開講される秋～冬学期以降の「英語・英米文化学準備コース」を受講することにより、プログラム履修開始年度の科目履修を目指すことができます。

※同一科目の重複履修は可能ですが、担当教員に内容を相談し許可を得ること。

※開講科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

※「集中開講」と記載している科目以外は真面で開講する予定です。

【注】「英語 (文化)」および「英米文化」の各科目では、英語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に関連する内容が扱われます。

別表：英語・英米文化プログラム・2018年度検定試験スコアの提出について

「英語・英米文化学構成科目」の履修については、所定の検定試験のいずれかを受検し、基準を満たすスコアの写し（画像）を期限までに提出する必要があるあります。有効取得日、提出期限に注意のうえ、遺漏のないよう手続きしてください。

履修・修得科目	2018年度 春～夏学期 履修登録要件	各種要件等	プログラム修了要件	有効取得日	提出期限
• 英語（語学・文学・文化・コミュニケーション）a	2018年度 春～夏学期 履修登録要件			入学以後に取得したもの	最終期限：2018年4月13日(金)
• 英語（語学・文学・文化・コミュニケーション）b	2018年度 秋～冬学期 履修登録要件			入学以後に取得したもの	最終期限：2018年10月15日(月)
• (英語学・英文学・英語会話・英語作文) I a • (英語学・英文学・英語会話・英語作文) II a • 英米文化 (I、II、III、IV、V、VI) a	2018年度 秋～冬学期 単位修得要件			入学以後で、なおかつ 2017年4月1日以降	2019年1月31日(木)
• (英語学・英文学・英語会話・英語作文) I b • (英語学・英文学・英語会話・英語作文) II b • 英米文化 (I、II、III、IV、V、VI) b	2018年度 春～夏学期 履修登録要件			入学以後に取得したもの	最終期限：2018年4月13日(金)
• Academic Writing Course a/b • Academic Presentation Course a/b • World English Seminar a/b	2018年度 秋～冬学期 単位修得の目安			入学以後で、なおかつ 2017年4月1日以降	最終期限：2018年10月15日(月)
プログラム修了要件	2018年度 春～夏学期 履修登録要件			入学以後に取得したもの	最終期限：2018年4月13日(金)
プログラム修了要件	2018年度 秋～冬学期 履修登録要件			入学以後に取得したもの	最終期限：2018年10月15日(月)
試験種類	準1級以上	準1級以上	—	入学以後、 プログラム修了年度の または当該年度に取得したもの	プログラム修了年度の1月末日
実用英語技能検定	準1級以上	準1級以上		※基準を満たす有効取得日内のスコアを過去に提出済みの場合は、再度の提出は不要です。 ※実用英語技能検定は更新制ではないため、入学以後に取得したものであれば特に有効 期限を定めません。	
TOEIC (L&R)	580点以上	630点以上	820点以上		
TOEFL (PAPER)	500点以上	520点以上	580点以上		
TOEFL (IBT)	61点以上	68点以上	92点以上		
IELTS	5.0以上	5.5以上	6.5以上		

【提出方法】

〈履修申請時〉

科目履修申請時にスコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して履修科目とともに送付してください。

（送付先アドレス〈マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE)〉: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ (http://www.mle.osaka-u.ac.jp/) を確認してください)。

〈単位修得時およびプログラム修了時〉

表中の提出期限までに、スコアを証明する箇所（検定試験の種類、受検年月日、氏名、スコアが印字されている部分）の画像を、メールに添付して送付してください。

（送付先アドレス〈マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE)〉: multilingual@lang.osaka-u.ac.jp、詳細はホームページ (http://www.mle.osaka-u.ac.jp/) を確認してください)。

外国語学部【スペイン語・スペイン文化学】

プログラム名	和文	スペイン語・スペイン文化学
開設学部	英文	Spanish and Spanish Culture
募集対象	外国語学部	
修了要件	平成30年度に文学部、人間科学部、法学部、経済学部の2、3年次に在学する正規学生 本学部プログラム科目を所定の履修方法に従って12単位以上修得すること。ただし、所属学部の卒業に必要な最低修得単位数以外に、本プログラムの単位を6単位以上修得しななければならない。文学部と人間科学部において第2外国語としてスペイン語初級の単位を修得した者には、スペイン語初級を免除し、スペイン語中級4単位と講義6単位以上の修得で修了とみなす。	
趣旨・概要	マルチリンガル・エキスパート養成プログラムは、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。本プログラムは、そのうちの学部学生向けの学部プログラムのうち「プログラムとして実施するもので、スペイン語・スペイン文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、スペイン語のより高い運用能力を涵養するとともに、スペイン語研究に関する幅広い知識をもった人材を育成することを目指す。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①スペイン語の運用能力に関して、中級レベル (CEFR/A2 もしくは B1 相当) の能力を有する。 ②スペイン語圏の言語、文学、歴史について、基礎的な知識を幅広く身につけ、異文化を正しく理解できる。	
カリキュラムの構成	本プログラムは、外国語学部が開講する授業科目の内、兼修語学のスペイン語初級およびスペイン語中級 (1単位の実習科目)、およびスペイン語専攻の専攻科目の内、概論に該当する講義科目 (2単位の講義科目) によって構成される。	
履修資格・条件	各自の専門分野のみならず、スペイン語を修得して将来国際舞台で活躍することにご意欲を持つ学生を歓迎する。募集人員は各学部若干名で、履修申請書 (志望理由) および成績などの審査の結果を総合して選考し、履修者を決定する。応募者には必要に応じて面接を課すことがある。	
前提知識の目安	特になし	
履修申請	本学部プログラムの履修を希望する者は、平成30年1月4日 (木) ~2月1日 (木) の期間内に、MLE担当者 (外国語学部実務室または豊中分室) へ「学部プログラム履修申請書」を提出の上、平成30年3月12日 (月) までに、所属学部の教務係に大阪大学の「成績証明書」を提出すること。「学部プログラム履修申請書」の用紙には、KOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。	
問合せ先	マルチリンガル・エキスパート養成プログラム担当者 TEL: 072-730-5062 FAX: 072-730-5057 Email: multilingua@lang.osaka-u.ac.jp	

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選必修	開講学期 (4学期制)	配当学年	備考
101648	スペイン語初級 a (A) (豊中開講)	1	春~夏	2、3、4	
101654	スペイン語初級 b (A) (豊中開講)	1	秋~冬	2、3、4	
101643	スペイン語初級 a (B)	1	春~夏	2、3、4	
101649	スペイン語初級 b (B)	1	秋~冬	2、3、4	
101645	スペイン語初級 a (C)	1	春~夏	2、3、4	
101651	スペイン語初級 b (C)	1	秋~冬	2、3、4	
101644	スペイン語初級 a (D)	1	春~夏	2、3、4	
101650	スペイン語初級 b (D)	1	秋~冬	2、3、4	
101646	スペイン語初級 a (E)	1	春~夏	2、3、4	
101652	スペイン語初級 b (E)	1	秋~冬	2、3、4	
101647	スペイン語初級 a (F)	1	春~夏	2、3、4	
101653	スペイン語初級 b (F)	1	秋~冬	2、3、4	
101633	スペイン語中級 I a (A)	1	春~夏	2、3、4	①②
101636	スペイン語中級 I b (A)	1	秋~冬	2、3、4	①②
101634	スペイン語中級 I a (B)	1	春~夏	2、3、4	①②
101637	スペイン語中級 I b (B)	1	秋~冬	2、3、4	①②
101635	スペイン語中級 I a (C)	1	春~夏	2、3、4	①②
101638	スペイン語中級 I b (C)	1	秋~冬	2、3、4	①②
101640	スペイン語中級 II a (A)	1	春~夏	2、3、4	①②
101642	スペイン語中級 II b (A)	1	秋~冬	2、3、4	①②
101640	スペイン語中級 II a (B)	1	春~夏	2、3、4	①②
101642	スペイン語中級 II b (B)	1	秋~冬	2、3、4	①②
101599	スペイン歴史・文化概論 a	2	春~夏	2、3、4	①②
101600	スペイン歴史・文化概論 b	2	秋~冬	2、3、4	①②
101601	スペイン語学概論 a	2	春~夏	2、3、4	①②
101602	スペイン文学概論	2	秋~冬	2、3、4	①②

※スペイン語中級を履修するには、本プログラムのスペイン語初級 (2単位) が第2外国語としてスペイン語初級 (2単位) を修得していることが必要です。
 ※スペイン語初級とスペイン語中級は春~夏学期と秋~冬学期で同じクラスを履修してください。
 ※スペイン語中級 I と II はどちらから履修しても構いません。(スペイン語中級 II はネイティブ教員の授業です。)
 ※「豊中開講」と記載している科目以外は其面で開講する予定です。
 ※構成科目目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

平成30年度 マルチリンガル・エキスパート養成（MLE）大学院プログラム紹介

MLE 大学院プログラム一覧

	プログラム名称	開設部局	募集対象者 ※大学院学生（科目等履修生・特別聴講学生を除く）	掲載頁
1	人文学 （グローバル・アジア・スタディーズ）	文学研究科	1. MLE 学部プログラムの「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で、特に希望するもの	34
2	人文学 （グローバル・ユーロ・スタディーズ）		1. MLE 学部プログラムの「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で特に希望するもの	35
3	人間科学 （共生の生態）	人間科学研究科	1. MLE 学部プログラムの「人間科学（共生の生態）」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で特に希望するもの	36
4	法学・政治学	法学研究科	1. MLE 学部プログラムの「法学・政治学」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で、特に希望するもの	37
5	経済学・経営学	経済学研究科	1. MLE 学部プログラムの「経済学・経営学」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で特に希望するもの	38

	プログラム名称	開設部局	募集対象者 ※大学院学生（科目等履修生・特別聴講学生を除く）	掲載頁
6	国際公共政策学	国際公共政策 研 究 科	1. MLE 学部プログラムの「法学・政治学」もしくは「経済学・経営学」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で、特に希望するもの	40
7	言語文化学 (24専攻言語)	言語文化研究科 ・ 言語社会専攻	1. <ul style="list-style-type: none"> • MLE 学部プログラムの「人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）」もしくは「人文学（グローバル・ユーロ・スタディーズ）」を修了した学生で平成30年4月に文学研究科の修士もしくは博士前期課程に入学する者 • MLE 学部プログラムの「人間科学（共生の生態）」を修了した学生で平成30年4月に人間科学研究科の博士前期課程に入学する者 • MLE 学部プログラムの「法学・政治学」を修了した学生で平成30年4月に法学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程に入学する者 • MLE 学部プログラムの「経済学・経営学」を修了した学生で平成30年4月に経済学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月に文学、人間科学、法学、経済学および国際公共政策研究科の修士もしくは博士前期課程に入学する者で特に希望するもの	41

※ MLE 学部プログラム修了生は選考なし。それ以外の者は、選考の上履修生を決定する。

文学研究科【人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）】

プログラム名	和文 人文学（グローバル・アジア・スタディーズ） 英文 Humanities (Global Asian Studies)
開設研究科	文学研究科
募集対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正規学生
修了要件	7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組み、専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、アジアの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与します。 ①アジアの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②アジアの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③アジアの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④アジア諸言語の高度な運用能力を習得している。
カリキュラムの構成	<ul style="list-style-type: none"> 「グローバル・エキスパート」世界の「アジア史」「グローバル・アジア研究」「広域アジア史」「アジアの思想史」「アジアの芸術史」「アジアの文化と社会」「中国語圏文学」「中国の文化と社会」の科目群を設け、科目群ごとに1～5の科目を配置する。 豊富な選択肢のなかから自由に組み合わせで選択できるため、履修者の関心に応じ、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）（上記①に対応）、専門性（上記③に対応）のいずれにも集約化が可能である。 高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読も開講する（上記④に対応）。 上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
履修資格・条件	<p>【募集対象】募集定員は若干名</p> <ol style="list-style-type: none"> マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの人文学（グローバル・アジア・スタディーズ）を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 上記1以外の者で平成30年4月（又は、10月入学の者は平成29年10月）、言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で特に希望するもの <p>【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。</p>
前提知識の目安	アジアの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 アジア諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。
特記事項	学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板及びMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	文学研究科教務係 TEL:06-6850-5085/5084 FAX: 06-6850-5087 Email: bunsohuhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
20Z000	世界の中のアジア史 (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z001	世界の中のアジア史 (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z002	グローバル・ファイソフイー (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z003	グローバル・アジア研究 I (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z004	グローバル・アジア研究 II (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z005	グローバル・アジア研究 III (M)	2	不開講	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z006	広域アジア史 I (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z007	広域アジア史 II (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z008	広域アジア史 III (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z009	広域アジア史 IV (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z010	広域アジア史 V (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z011	アジアの思想史 I (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z012	アジアの思想史 II (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z013	アジアの思想史 III (M)	4	通年	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z014	アジアの思想史 IV (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z015	アジアの芸術史 (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z016	アジアの文化と社会 I (M)	2	集中	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z017	アジアの文化と社会 II (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z018	中国語圏文学 I (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z019	中国語圏文学 II (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z020	中国語圏文学 III (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z021	中国語圏文学 IV (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z022	中国語圏文学 V (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z023	中国の文化と社会 I (M)	2	不開講	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z024	中国の文化と社会 II (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z025	中国の文化と社会 III (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	

※構成科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

文学研究科【人文学（グローバル・ユロー・スタディーズ）】

●構成科目

プログラム名	和文 人文学（グローバル・ユロー・スタディーズ）
開設研究科	英文 Humanities (Global Eurostudies)
募集対象者	文学研究科
修了要件	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正規学生 7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了するために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、ヨーロッパの古代～現代のあらゆる時代に関わる思想、歴史、文学、芸術などの人文学の基礎知識、理論、方法論を学ぶための授業を提供する。本プログラムの履修を通じて、幅広い人文学的教養と高度な専門性を備えたグローバル人材を育成する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与します。 ①ヨーロッパの文化・歴史・思想全般に関する基礎知識を習得している。 ②ヨーロッパの文化・歴史・思想を研究するための方法を習得している。 ③ヨーロッパの文化・歴史・思想の個別主題についての専門知識を習得している。 ④ヨーロッパ諸言語の高度な運用能力を習得している。
カリキュラムの構成	・「ヨーロッパの哲学」「ヨーロッパの歴史」「ヨーロッパの文学」「ヨーロッパの芸術」「ヨーロッパの現代」の科目群を設け、科目群ごとに3～5の科目を配置する。 ・豊富な選択肢の中から自由に組み合わせることで選択できるため、履修者の関心に応じて、一般性（地域横断的な知と分野横断的な知）(上記①に対応)、専門性（上記②に対応）のいずれにも焦点化が可能である。 ・高度な外国語運用能力の養成のため、文献講読、ネイティブ教員による英・独・仏語授業も開講する（上記④に対応）。 ・上記②については、各科目群の基礎的な科目をもって対応する。
履修資格・条件	【募集対象】募集定員は若干名 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム「人文学（グローバル・ユロー・スタディーズ）」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は、10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学者（した）者で特に希望するもの 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。
前提知識の目安	ヨーロッパの人文学に関する学部レベルの専門知識を有すること。 ヨーロッパ諸地域の言語、文化、歴史、芸術、思想に関心があり、独自に問題を設定して、それについて粘り強く探求する意欲を持つ学生を歓迎する。
特記事項	学部プログラム時に履修した同じ名称の科目の履修を原則として認める。
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板及びMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	文学研究科教務係 TEL: 06-6850-5084/5085 FAX: 06-6850-5087 Email: bunsouhaku-kyoumu@office.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数	開講学期(4学期制)	開講部局(課程)	備考
20Z200	ヨーロッパの哲学Ⅰ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z201	ヨーロッパの哲学Ⅱ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z202	ヨーロッパの哲学Ⅲ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z203	ヨーロッパの哲学Ⅳ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z204	ヨーロッパの哲学Ⅴ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z205	ヨーロッパの哲学Ⅵ (M)	2	不開講	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z206	ヨーロッパの歴史Ⅰ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z207	ヨーロッパの歴史Ⅱ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z208	ヨーロッパの歴史Ⅲ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z209	ヨーロッパの歴史Ⅳ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z210	ヨーロッパの歴史Ⅴ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z211	ヨーロッパの文学Ⅰ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z212	ヨーロッパの文学Ⅱ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z213	ヨーロッパの文学Ⅲ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z214	ヨーロッパの文学Ⅳ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z215	ヨーロッパの文学Ⅴ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z216	ヨーロッパの文学Ⅵ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z217	ヨーロッパの文学Ⅶ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z218	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)	2	不開講	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z219	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z220	ヨーロッパの文学Ⅷ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z221	ヨーロッパの文学Ⅸ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z222	ヨーロッパの文学Ⅹ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z223	ヨーロッパの文学Ⅹ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z224	ヨーロッパの文学Ⅺ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z225	ヨーロッパの文学Ⅺ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z226	ヨーロッパの文学Ⅻ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z227	ヨーロッパの芸術Ⅰ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z228	ヨーロッパの芸術Ⅱ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z229	ヨーロッパの芸術Ⅲ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z230	ヨーロッパの芸術Ⅳ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z231	ヨーロッパの芸術Ⅳ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z232	ヨーロッパの現代Ⅰ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z233	ヨーロッパの現代Ⅱ (M)	2	不開講	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z234	ヨーロッパの現代Ⅲ (M)	2	春～夏	文学研究科 (博士前期課程)	
20Z235	ヨーロッパの現代Ⅳ (M)	2	秋～冬	文学研究科 (博士前期課程)	

※構成科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

人間科学研究科【人間科学（共生の生態）】

プログラム名	人間科学（共生の生態）
開設研究科	HUMAN SCIENCES (WHAT IS LIVING TOGETHER?)
募集対象者	人間科学研究科
修了要件	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正期学生 7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了するために利用する単位数以上の余分に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、人間科学（共生の生態）に関する科目で構成されたプログラムを提供する。多様な文化的・社会的背景をもった人々が、国内外で出会う状況が生まれている今日、災害や紛争といった状況下ではもちろん、日常生活においても共生が求められている。本プログラムでは人間科学研究科の多様な専門性を活かして、さまざまな角度から共生について学ぶことを通じ、共生の実現に貢献できる人材を養成することを目標とする。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学習を通して、以下の能力を得た方に修了認定証を授与する。 ①複眼的な思考を持ち、人々の多様性を理解できる。 ②人々と対話し関係を築き協働することについて、自分の意見を持ち、論じることができ。 ③共生に関し学んだことを実践に応用したり活かしたりすることができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標を達成するために4つの学系から提供される科目群を配置し、共生について多面的な履修を促す。共生そのものをテーマとしてとり上げる授業と、共生に関連するテーマを扱う授業がある。 行動学系科目群 心理学、行動学、死生学などに関わる科目群 社会学系科目群 社会学、文化人類学、福祉、思想などに関わる科目群 教育学系科目群 教育学の理論と教育現場に関わる科目群 共生学系科目群 共生そのものを考える科目群
履修資格・条件	【募集対象】 募集定員は若干名 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人間科学（共生の生態）」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は10月入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で特に希望するもの 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。
前提知識の目安	前提知識は不要
特記事項	特になし
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板及びMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	人間科学研究科教務係 TEL: 06-6879-8012 FAX: 06-6879-8010 Email: kyoyumu@hus.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
	〈行動学科目〉				
210594	比較発達心理学特講Ⅰ	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
未定	比較発達心理学特講Ⅱ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211733	環境行動学特講Ⅰ	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211734	環境行動学特講Ⅱ	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	5名程度
211735	環境行動学特講Ⅲ	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	5名程度
	〈社会学科目〉				
211223	比較思想史特講	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
210706	人類学理論特講	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211719	科学技術と文化特講	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
211174	比較社会学特講	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
211181	現代社会学特講	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
210668	文化社会学特講	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
211301	比較福祉論特講Ⅰ	2	秋	人間科学研究科(博士前期課程)	
	〈教育学科目〉				
211265	教育制度学特講	2	冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211270	生涯教育学特講	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
未定	教育分野に関する理論と支援の展開	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
219241	教育人間学特講演習Ⅱ(B)	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
	〈共生学科目〉				
211808	地域創生論特講Ⅰ	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
211809	地域創生論特講Ⅱ	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211794	国際協力学特講Ⅰ	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
211795	国際協力学特講Ⅱ	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211801	多文化共生学特講Ⅰ	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	
未定	共生行動論特講Ⅰ(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	春	人間科学研究科(博士前期課程)	
211748	共生の人間学特講Ⅱ	2	秋～冬	人間科学研究科(博士前期課程)	
211753	共生社会学特講Ⅰ	2	春～夏	人間科学研究科(博士前期課程)	

※構成科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

法学研究科【法学・政治学】

●構成科目

プログラム名	和文 法学・政治学 英文 Law and Politics
開設研究科	法学研究科
募集対象者	下記の履修資格・条件を満たす博士前期課程に在学する正規学生
修了要件	7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは14単位以上は、研究科・専攻の修了要件となる科目で修了するために利用する単位数以上の単位数に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチランガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、法的ルールや歴史的に形成された社会構造についての深い造詣に基づき、現代法や公共政策に関する考察を加え、日本や世界の社会が今後有すべき諸秩序や構想に貢献できる人材を育成することを目指して、法学研究科が開講する関連科目群を提供する。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 法学・政治学における研究能力、及び高度の専門性が求められる職業を担うための能力を有する。
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身に付けるべき能力)を達成するために、本プログラムでは法学研究科が開講する以下の科目群を配置する。 ・入門・基礎科目 ・総合、私法、基礎法学、政治学に属する各科目 ・総合・展開科目
履修資格・条件	【募集対象】募集定員は若干名 1. マルチランガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月(又は、10月)入学の者は平成29年10月)、言語文化研究科の博士前期課程に入学する(した)者で特に希望するもの 【選考】マルチランガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。
前提知識の目安	特になし。
特記事項	本コースの履修者に対して研究計画をふまえた担任を配置し、系統的な履修を行うためのアドバイスを行う。
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	法学研究科教務係 TEL: 06-6850-5145 FAX: 06-6850-5089 Email: houkyoumu@law.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局(課程)	備考
220427	公法の基礎	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220298	民法の基礎	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220368	国際政治学概論	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220369	法政情報処理	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220374	法文概論	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220434	日本法総論・演習	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	留学生限定
220435	日本法総論・演習	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	留学生限定
220495	政治学概論	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220403	憲法1	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220301	行政法1	2	未定	法学研究科(博士前期課程)	
220302	行政法2	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220303	税法	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220306	刑法	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220311	刑事訴訟法	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220316	国際法1	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220317	国際法2	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220307	刑事法	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220416	刑事法制論	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220332	総論	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220296	人権論	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220304	民法1	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220305	民法2	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220308	商法1	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220309	商法2	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220497	総論	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220310	民事訴訟法	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220413	裁判外紛争処理法	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220433	裁判学	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220313	労働法1	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220314	労働法2	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220340	雇用関係法	2	未定	法学研究科(博士前期課程)	
220339	社会保険法	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220315	国際私法	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220343	国際取引法	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220412	知的財産経営	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220349	労働市場法	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220320	日本法史	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220505	西洋法史	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220325	比較法史	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220323	ローマ法	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220322	法社会学	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220409	法政策学	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220326	英米法	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220405	ヨーロッパ法	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220546	中国法	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220318	法理学	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220319	法思想史	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220500	政治学	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220501	政治過程論	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220346	西洋政治思想史	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220350	日本政治思想史	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220351	日本政治史	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220353	ヨーロッパ政治史	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220354	アジア政治史	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220327	行政学	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	
220421	比較政治学	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220431	地方行政論	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220425	法政情報学1	2	春～夏	法学研究科(博士前期課程)	
220426	法政情報学2	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220496	地方自治演習	2	不開講	法学研究科(博士前期課程)	
220481	現代中国研究	2	秋～冬	法学研究科(博士前期課程)	

※開講科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

経済学研究科【経済学・経営学】

●構成科目

プログラム名	和文 経済学・経営学 英文 Economics and Business Administration
開設研究科	経済学研究科
募集対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正期学生
修了要件	7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の単位数に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組み専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部高横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、経済学専攻および経営学系専攻の経済学・経営学に関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、経済学・経営学に通曉した人材を育成することを目指す。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	①経済学・経営学の基礎について理解している。 ②経済学・経営学の理論を現実の経済・経営問題に活用できる。 ③現実の経済・経営問題について自分の意見を持ち、高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身に付けるべき能力)を達成するために、本プログラムでは経済学研究科(経済学専攻)応用経済コース、経営学系専攻ビジネスコースが開講する科目を提供し、経済学および経営学について系統的な履修を促す。
履修資格・条件	【履修対象】 募集定員は若干名 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「経済学・経営学」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月(又は、10月)入学の者は平成29年10月)に言語文化研究科の博士前期課程に入学する(した)者で特に希望するもの 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。
前提知識の目安	本プログラムを構成する各科目の履修にあたっては、学部レベルでの経済学・経営学の知識および理解を有することを前提とする。
特記事項	特になし
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	経済学研究科教務係 TEL: 06-6850-5204 FAX: 06-6850-5212 Email: kyoumu@econ.osaka-u.ac.jp

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
230716	マクロ経済基礎	2	夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230717	ミクロ経済基礎	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230718	計量経済基礎	2	春	経済学研究科(博士前期課程)	
231048	政策史基礎	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230150	マクロ経済Ⅲ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230151	エコノメトリックスⅢ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
231049	計量モデル分析Ⅰ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
231050	計量モデル分析Ⅱ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230721	ミクロ計量経済	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230937	統計基礎	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230147	経済・経営数学	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230722	標本調査	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230103	ミクロ経済分析Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230104	ミクロ経済分析Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230152	行動経済学Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230153	行動経済学Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230154	公共経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230155	公共経済Ⅱ	2	冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230115	財政Ⅰ	2	春	経済学研究科(博士前期課程)	
230116	財政Ⅱ	2	夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230109	金融Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230110	金融Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232028	アセット・プライシング	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232044	コーポレート・ファイナンス	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230755	リスク・マネジメント	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230740	投資理論	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230741	組織管理	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
231051	国際貿易Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
231052	国際貿易Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230253	国際金融Ⅰ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230254	国際金融Ⅱ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
231053	開発経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
231054	開発経済Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230119	労働経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230120	労働経済Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230133	法と経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
230134	法と経済Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
231055	都市・地域経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
231056	都市・地域経済Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230105	数理経済分析Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230106	数理経済分析Ⅱ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230255	経済学Ⅰ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230256	経済学Ⅱ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230156	経済思想Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230157	経済思想Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
231057	政策史分析Ⅰ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
231058	政策史分析Ⅱ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230143	日本経済史Ⅰ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230144	日本経済史Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230145	近代日本経済史Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230146	近代日本経済史Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230139	比較経営Ⅰ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230140	比較経営Ⅱ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230158	比較産業Ⅰ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230159	比較産業Ⅱ	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230160	比較経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230161	比較経済Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230135	西洋経済史Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230136	西洋経済史Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230162	西洋経営史Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230163	西洋経営史Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
	経済学特論	2又は4			
230651	研究・調査インターシッピング	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232003	アカウンティング/ファイナンス	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232040	オペレーションズ・リサーチ/マネジメントサイエンス	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232042	ストラテジー/マーケティング	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232043	マネジメント・コントロール	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230937	統計基礎	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230740	投資理論	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232044	コーポレート・ファイナンス	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232046	最適化	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232047	確率モデルとシミュレーション	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232020	統計解析	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230722	標本調査	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232049	マーケティング・マネジメント	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
232050	知識・情報マネジメント	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230741	組織管理	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232069	戦略創造	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232053	財務報告戦略	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232054	企業分析と評価	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232024	企業経済	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230755	リスク・マネジメント	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232063	金融工学	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232025	オペレーションズ・マネジメント	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
232039	応用統計分析	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232021	マーケティング・サイエンス	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232066	コラボレーションの科学	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
232097	経営情報システム論	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
232023	データマイニング論	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232052	ヒューマンリソース・マネジメント	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232072	ビジネスモデル論	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
232070	マネジメント・アカウンティング	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230739	プロジェクト・マネジメント	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
230147	経済・経営数学	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230717	ミクロ経済基礎	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230716	マクロ経済基礎	2	夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230718	計量経済基礎	2	春	経済学研究科(博士前期課程)	
230154	公共経済Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230109	金融Ⅰ	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
230110	金融Ⅱ	2	秋～冬	経済学研究科(博士前期課程)	
230115	財政Ⅰ	2	春	経済学研究科(博士前期課程)	
230116	財政Ⅱ	2	夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232057	コーポレート・ガバナンス	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
232028	アセット・プライシング	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232048	バブリック・マネジメント	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
232071	企業家活動	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
232073	イノベーション・マネジメント	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232074	会計基準の経済分析	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	
232075	情報の経済学と会計学	2	不開講	経済学研究科(博士前期課程)	
	経営学特論	2又は4			
	ケーススタディ	2又は4			
230651	研究・調査インターシッピング	2	春～夏	経済学研究科(博士前期課程)	

※開講科目は平成29年度の実績に基づく開講予定で、変更される可能性があります。

国際公共政策研究科【国際公共政策学】

プログラム名	和文 国際公共政策学 英文 International public policy
開設研究科	国際公共政策研究科
募集対象者	下記の履修資格・条件の要件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正規学生
修了要件	7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の単位数に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部高構断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうち大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、平和や安全保障、環境問題、経済発展・開発、人権の保障などの公共政策課題について、自分の意見を広く世界に発信したり、解決に向けて指導力を発揮をしたることができるような人材の育成を目指す。
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定を授与する。 ①国際公共政策学（法学、政治学、経済学）について十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身に付けるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、国際公共政策研究科が開講する科目の中から、国際法、国際関係論、経済学などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。
履修資格・条件	【募集対象】 募集定員は若干名 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」もしくは「経済学・経営学」を修了した学生で平成30年4月に言語文化研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月（又は、10月）入学の者は平成29年10月）に言語文化研究科の博士前期課程に入学する（した）者で特に希望するもの 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。
前提知識の目安	前提知識は不要
特記事項	特になし
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板及びMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	国際公共政策研究科教務係 TEL: 06-6850-5612 FAX: 06-6850-5600 Email: kyomu@osipp.osaka-u.ac.jp

● 構成科目

時間割コード	授業科目名	単位数 必修 選必修	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
310005	国際法	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310878	国際公共政策のための法学	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310402	公共政策 I	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310006	国際関係論	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310011	応用エノコメトリックス I	2	夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310009	現代ミクロ経済学 I	2	夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310007	現代マクロ経済学 I	2	秋	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310689	ディシジョン・セオリー	2	春	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310686	政策データ分析法	2	春	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310016	国際人権法	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310046	比較現代私法論	2	不開講	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311157	特殊講義 (国際経済関係の法と制度)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311470	特殊講義 (EU法)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311472	特殊講義 (EU域内市場法)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310716	演習 (ジェンダーと法)	2	不開講	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310808	演習 (ヨーロッパ人権保障体制)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311381	演習 (WTOと健康・環境の保護)	2	不開講	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310045	比較政治システム論	2	不開講	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311164	特殊講義 (紛争研究概論)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311165	特殊講義 (平和構築論)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311031	特殊講義 (国際行政論)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311480	特殊講義 EU 論 (歴史、制度、政治)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311161	演習 (平和研究)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311221	演習 (多文化共生論)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310021	公共経済学	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310930	特殊講義 (国際貿易論)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310953	特殊講義 (国際貿易政策)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310882	特殊講義 (労働経済学の検証分析)	2	春～夏	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
311265	特殊講義 (地域統合)	2	秋～冬	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	
310897	プロジェクト演習 (公共政策ワークショップ)	2	通年	国際公共政策研究科 (博士前期課程)	

※構成科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

言語文化研究科 (言語社会専攻) 【言語文化学】

プログラム名	和文 英文	言語文化学 Language and Culture
開設研究科	言語文化研究科 (言語社会専攻)	
募集対象者	下記の履修資格・条件を満たす修士もしくは博士前期課程に在学する正期学生	
修了要件	14単位以上	7単位以上は、研究科・専攻の修了要件ではない単位、あるいは修了要件単位となる科目で修了のために利用する単位数以上の単位数に追加された単位であること。
趣旨・概要	「マルチリンガル・エキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部高横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、各専攻語学および専攻語圏の文化学に関する専門教育科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、読み、書き、聞き、話す国際的な場面で通用する総合的な高い語学能力を涵養するとともに、当該言語文化圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想に通暁した人材を育成することを旨とする。	
到達目標 (修了時に身に付く能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた方に修了認定証を授与する。 ①専攻語の四技能(リーディング、ライティング、リスニング、スピーキング)に関して、国際的な場面で通用する高い運用能力を有する。 ②専攻語圏の言語、政治、経済、社会、歴史、思想を深く理解するとともに、専攻語で関連テーマについて高度なレベルのプレゼンテーションやディスカッションを行うことができる。	
カリキュラムの構成	上記の到達目標(修了時に身に付けるべき能力)を達成するために、本プログラムでは言語文化研究科(言語社会専攻)が開講する以下の5つの科目群を配置し、各専攻語学および専攻語圏の文化学について系統的な履修を促す。 ・専攻科目 (広域言語論・地域言語論) ・地域言語社会特論科目 ・複合領域特論科目 ・専攻言語科目 ・関連研究言語科目	
履修資格・条件	【募集対象】 募集定員は若干名 1. マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人文学(グローバル・アジア・スタディーズ)」もしくは「人文学(グローバル・ユーロ・スタディーズ)」を修了し平成30年4月に文学研究科の修士課程もしくは博士前期課程に入学する者 ・マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「人間科学(共生の生態)」を修了、平成30年4月に人間科学研究科の博士前期課程に入学する者 ・マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「法学・政治学」を修了し平成30年4月に、法学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程に入学する者 ・マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「経済学・経営学」を修了、平成30年4月に、経済学研究科もしくは国際公共政策研究科の博士前期課程に入学する者 2. 上記1以外の者で平成30年4月に、文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科および国際公共政策研究科の修士課程もしくは博士前期課程に入学する者で特に希望するもの 【選考】 マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム修了生以外は選考の上履修生を決定する。	

前提知識の目安	本プログラムを構成する専攻言語科目の履修にあたっては、当該専攻言語の学部レベルでの運用能力を有することを前提とする。例えば「英語特別演習A・B」および「英語特別演習C・D」については、マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムの「英語・英米文化学プログラム」修了のために必要とされる外部検定試験の基準スコア程度の英語運用能力が履修の際に求められる。
特記事項	本プログラムの構成科目のうち専攻言語科目については、優先的に履修することを推奨する。なお、上記「履修資格・条件」の2に該当する者については、履修を希望する専攻言語科目に関する運用能力が一定の水準に達していることを証明する書類(各種検定試験のスコアの写し等)を所定の期限までに提出すること。
履修申請	8、9頁を参照のこと。履修申請書はKOANの掲示板およびMLEのホームページから入手できる。
問合せ先	言語文化研究科・外国語学部算面事務室 MLE担当 TEL: 072-730-5062 FAX: 072-730-5057 Email: multilingua@lang.osaka-u.ac.jp

●構成科目

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
	(広域言語論)				
305001	広域言語実践論ⅠA	2	春～夏	言語文化研究科・言語社会専攻 (博士前期課程)	
305002	広域言語実践論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305003	広域言語実践論ⅡA	2	春～夏	同上	
305004	広域言語実践論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305005	広域言語実践論ⅢA	2	春～夏	同上	
305006	広域言語実践論ⅢB	2	秋～冬	同上	
	広域言語実践論Ⅳ～ⅦA		不開講	同上	
	広域言語実践論Ⅳ～ⅦB		不開講	同上	
	広域言語文化論ⅠA		不開講	同上	
	広域言語文化論ⅠB		不開講	同上	
305015	広域言語文化論ⅡA	2	春～夏	同上	
305016	広域言語文化論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305017	広域言語文化論ⅢA	2	春～夏	同上	
305018	広域言語文化論ⅢB	2	秋～冬	同上	
	広域言語文化論ⅣA		不開講	同上	
	広域言語文化論ⅣB		不開講	同上	
305021	広域言語文化論ⅤA	2	春～夏	同上	
305022	広域言語文化論ⅤB	2	秋～冬	同上	
305023	広域対照言語論ⅠA	2	春～夏	同上	
305024	広域対照言語論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305025	広域対照言語論ⅡA	2	春～夏	同上	
305026	広域対照言語論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305027	広域対照言語論ⅢA	2	春～夏	同上	
305028	広域対照言語論ⅢB	2	秋～冬	同上	
305029	広域対照言語論ⅣA	2	春～夏	同上	
305030	広域対照言語論ⅣB	2	秋～冬	同上	
	広域対照言語論ⅤA		不開講	同上	
	広域対照言語論ⅤB		不開講	同上	
	広域言語動態論ⅠA		不開講	同上	
	広域言語動態論ⅠB		不開講	同上	
	広域言語動態論ⅡA		不開講	同上	
	広域言語動態論ⅡB		不開講	同上	
	(地域言語論)				
305037	アジア言語構造論ⅠA	2	春～夏	同上	
305038	アジア言語構造論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305039	アジア言語構造論ⅡA	2	春～夏	同上	
305040	アジア言語構造論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305041	アジア言語構造論ⅢA	2	春～夏	同上	
305042	アジア言語構造論ⅢB	2	秋～冬	同上	
305043	アジア言語構造論ⅣA	2	春～夏	同上	
305044	アジア言語構造論ⅣB	2	秋～冬	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数		開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
		必修	選択			
305045	アジア言語構造論ⅤA		2	春～夏	同上	
305046	アジア言語構造論ⅤB		2	秋～冬	同上	
305047	アジア言語構造論ⅥA		2	春～夏	同上	
305048	アジア言語構造論ⅥB		2	秋～冬	同上	
305049	アジア言語構造論ⅦA		2	春～夏	同上	
305050	アジア言語構造論ⅦB		2	秋～冬	同上	
305051	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305052	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305053	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305054	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305055	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305056	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305057	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305058	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305059	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305060	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305061	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305062	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305063	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305064	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305065	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305066	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305067	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305068	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
	アジア言語構造論ⅧA			不開講	同上	
	アジア言語構造論ⅧB			不開講	同上	
305071	アジア言語構造論ⅧA		2	春～夏	同上	
305072	アジア言語構造論ⅧB		2	秋～冬	同上	
305073	アフリカ言語構造論ⅠA		2	春～夏	同上	
305074	アフリカ言語構造論ⅠB		2	秋～冬	同上	
305075	アフリカ言語構造論ⅡA		2	春～夏	同上	
305076	アフリカ言語構造論ⅡB		2	秋～冬	同上	
305077	ヨーロッパ言語構造論ⅠA		2	春～夏	同上	
305078	ヨーロッパ言語構造論ⅠB		2	秋～冬	同上	
305079	ヨーロッパ言語構造論ⅡA		2	春～夏	同上	
305080	ヨーロッパ言語構造論ⅡB		2	秋～冬	同上	
305081	ヨーロッパ言語構造論ⅢA		2	春～夏	同上	
305082	ヨーロッパ言語構造論ⅢB		2	秋～冬	同上	
305083	ヨーロッパ言語構造論ⅣA		2	春～夏	同上	
305084	ヨーロッパ言語構造論ⅣB		2	秋～冬	同上	
305085	ヨーロッパ言語構造論ⅤA		2	春～夏	同上	
305086	ヨーロッパ言語構造論ⅤB		2	秋～冬	同上	
305087	ヨーロッパ言語構造論ⅥA		2	春～夏	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
305088	ヨーロッパ言語構造論VI B	2	秋～冬	同上	
305089	ヨーロッパ言語構造論VII A	2	春～夏	同上	
305090	ヨーロッパ言語構造論VII B	2	秋～冬	同上	
305091	ヨーロッパ言語構造論VIII A	2	春～夏	同上	
305092	ヨーロッパ言語構造論VIII B	2	秋～冬	同上	
305093	ヨーロッパ言語構造論IX A	2	春～夏	同上	
305094	ヨーロッパ言語構造論IX B	2	秋～冬	同上	
305095	アメリカ言語構造論I A	2	春～夏	同上	
305096	アメリカ言語構造論I B	2	秋～冬	同上	
305097	アジア言語文化表象論I A	2	春～夏	同上	
305098	アジア言語文化表象論I B	2	秋～冬	同上	
305099	アジア言語文化表象論II A	2	春～夏	同上	
305100	アジア言語文化表象論II B	2	秋～冬	同上	
305101	アジア言語文化表象論III A	2	春～夏	同上	
305102	アジア言語文化表象論III B	2	秋～冬	同上	
305103	アジア言語文化表象論IV A	2	春～夏	同上	
305104	アジア言語文化表象論IV B	2	秋～冬	同上	
305105	アジア言語文化表象論V A	2	春～夏	同上	
305106	アジア言語文化表象論V B	2	秋～冬	同上	
305107	アジア言語文化表象論VI A	2	春～夏	同上	
305108	アジア言語文化表象論VI B	2	秋～冬	同上	
305109	アジア言語文化表象論VII A	2	春～夏	同上	
305110	アジア言語文化表象論VII B	2	秋～冬	同上	
305111	アジア言語文化表象論VIII A	2	春～夏	同上	
305112	アジア言語文化表象論VIII B	2	秋～冬	同上	
305113	アジア言語文化表象論IX A	2	春～夏	同上	
305114	アジア言語文化表象論IX B	2	秋～冬	同上	
305115	アジア言語文化表象論X A	2	春～夏	同上	
305116	アジア言語文化表象論X B	2	秋～冬	同上	
305117	アジア言語文化表象論XI A	2	春～夏	同上	
305118	アジア言語文化表象論XI B	2	秋～冬	同上	
305119	アジア言語文化表象論XII A	2	春～夏	同上	
305120	アジア言語文化表象論XII B	2	秋～冬	同上	
305121	アジア言語文化表象論XIII A	2	春～夏	同上	
305122	アジア言語文化表象論XIII B	2	秋～冬	同上	
305123	アジア言語文化表象論XIV A	2	春～夏	同上	
305124	アジア言語文化表象論XIV B	2	秋～冬	同上	
305125	アジア言語文化表象論XV A	2	春～夏	同上	
305126	アジア言語文化表象論XV B	2	秋～冬	同上	
305127	アジア言語文化表象論XVI A	2	春～夏	同上	
305128	アジア言語文化表象論XVI B	2	秋～冬	同上	
305129	アジア言語文化表象論XVII A	2	春～夏	同上	
305130	アジア言語文化表象論XVII B	2	秋～冬	同上	
305473	アジア言語文化表象論XVIII A	2	春～夏	同上	
305474	アジア言語文化表象論XVIII B	2	秋～冬	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
	ヨーロッパ言語文化表象論I A		不開講	同上	
	ヨーロッパ言語文化表象論I B		不開講	同上	
305133	ヨーロッパ言語文化表象論II A	2	春～夏	同上	
305134	ヨーロッパ言語文化表象論II B	2	秋～冬	同上	
305135	ヨーロッパ言語文化表象論III A	2	春～夏	同上	
305136	ヨーロッパ言語文化表象論III B	2	秋～冬	同上	
305137	ヨーロッパ言語文化表象論IV A	2	春～夏	同上	
305138	ヨーロッパ言語文化表象論IV B	2	秋～冬	同上	
305525	ヨーロッパ言語文化表象論V A	2	春～夏	同上	
305526	ヨーロッパ言語文化表象論V B	2	秋～冬	同上	
305139	イギリス言語文化表象論I A	2	春～夏	同上	
305140	イギリス言語文化表象論I B	2	秋～冬	同上	
305141	アメリカ言語文化表象論I A	2	春～夏	同上	
305142	アメリカ言語文化表象論I B	2	秋～冬	同上	
305143	アメリカ言語文化表象論II A	2	春～夏	同上	
305144	アメリカ言語文化表象論II B	2	秋～冬	同上	
305145	アメリカ言語文化表象論III A	2	春～夏	同上	
305146	アメリカ言語文化表象論III B	2	秋～冬	同上	
305147	アメリカ言語文化表象論IV A	2	春～夏	同上	
305148	アメリカ言語文化表象論IV B	2	秋～冬	同上	
	アジア言語文化資源論I A		不開講	同上	
	アジア言語文化資源論I B		不開講	同上	
305151	アジア言語文化資源論II A	2	春～夏	同上	
305152	アジア言語文化資源論II B	2	秋～冬	同上	
305153	アジア言語文化資源論III A	2	春～夏	同上	
305154	アジア言語文化資源論III B	2	秋～冬	同上	
305155	アジア言語文化資源論IV A	2	春～夏	同上	
305156	アジア言語文化資源論IV B	2	秋～冬	同上	
305157	アジア言語文化資源論V A	2	春～夏	同上	
305158	アジア言語文化資源論V B	2	秋～冬	同上	
305159	アジア言語文化資源論VI A	2	春～夏	同上	
305160	アジア言語文化資源論VI B	2	秋～冬	同上	
305471	アジア言語文化資源論VII A	2	春～夏	同上	
305472	アジア言語文化資源論VII B	2	秋～冬	同上	
305514	アジア言語文化資源論VIII A	2	春～夏	同上	
305515	アジア言語文化資源論VIII B	2	秋～冬	同上	
305518	アジア言語文化資源論IX A	2	春～夏	同上	
305519	アジア言語文化資源論IX B	2	秋～冬	同上	
305161	イギリス言語文化資源論I A	2	春～夏	同上	
305162	イギリス言語文化資源論I B	2	秋～冬	同上	
305163	アジア言語社会構造論I A	2	春～夏	同上	
305164	アジア言語社会構造論I B	2	秋～冬	同上	
305165	アジア言語社会構造論II A	2	春～夏	同上	
305166	アジア言語社会構造論II B	2	秋～冬	同上	
305512	アジア言語社会構造論III A	2	春～夏	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
305513	アジア言語社会構造論ⅢB	2	秋～冬	同上	
305167	アフリカ言語社会構造論ⅠA	2	春～夏	同上	
305168	アフリカ言語社会構造論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305169	アフリカ言語社会構造論ⅡA	2	春～夏	同上	
305170	アフリカ言語社会構造論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305171	ヨーロッパ言語社会構造論ⅠA	2	春～夏	同上	
305172	ヨーロッパ言語社会構造論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305173	ヨーロッパ言語社会構造論ⅡA	2	春～夏	同上	
305174	ヨーロッパ言語社会構造論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305175	ヨーロッパ言語社会構造論ⅢA	2	春～夏	同上	
305176	ヨーロッパ言語社会構造論ⅢB	2	秋～冬	同上	
305177	ヨーロッパ言語社会構造論ⅣA	2	春～夏	同上	
305178	ヨーロッパ言語社会構造論ⅣB	2	秋～冬	同上	
305179	アメリカ言語社会構造論ⅠA	2	春～夏	同上	
305180	アメリカ言語社会構造論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305181	アジア言語社会動態論ⅠA	2	春～夏	同上	
305182	アジア言語社会動態論ⅠB	2	秋～冬	同上	
	アジア言語社会動態論ⅡA		不開講	同上	
	アジア言語社会動態論ⅡB		不開講	同上	
305185	アジア言語社会動態論ⅢA	2	春～夏	同上	
305186	アジア言語社会動態論ⅢB	2	秋～冬	同上	
305191	アジア言語社会動態論ⅣA	2	春～夏	同上	
305192	アジア言語社会動態論ⅣB	2	秋～冬	同上	
	アジア言語社会動態論Ⅴ～ⅥA		不開講	同上	
	アジア言語社会動態論Ⅴ～ⅥB		不開講	同上	
305493	アジア言語社会動態論ⅦA	2	春～夏	同上	
305494	アジア言語社会動態論ⅦB	2	秋～冬	同上	
305193	ヨーロッパ言語社会動態論ⅠA	2	春～夏	同上	
305194	ヨーロッパ言語社会動態論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305195	ヨーロッパ言語社会動態論ⅡA	2	春～夏	同上	
305196	ヨーロッパ言語社会動態論ⅡB	2	秋～冬	同上	
305197	ヨーロッパ言語社会動態論ⅢA	2	春～夏	同上	
305198	ヨーロッパ言語社会動態論ⅢB	2	秋～冬	同上	
305199	ヨーロッパ言語社会動態論ⅣA	2	春～夏	同上	
305200	ヨーロッパ言語社会動態論ⅣB	2	秋～冬	同上	
305201	ヨーロッパ言語社会動態論ⅤA	2	春～夏	同上	
305202	ヨーロッパ言語社会動態論ⅤB	2	秋～冬	同上	
305516	ヨーロッパ言語社会動態論ⅥA	2	春～夏	同上	
305517	ヨーロッパ言語社会動態論ⅥB	2	秋～冬	同上	
305520	ヨーロッパ言語社会動態論ⅦA	2	春～夏	同上	
305521	ヨーロッパ言語社会動態論ⅦB	2	秋～冬	同上	
305203	イギリス言語社会動態論ⅠA	2	春～夏	同上	
305204	イギリス言語社会動態論ⅠB	2	秋～冬	同上	
305205	アメリカ言語社会動態論ⅠA	2	春～夏	同上	
305206	アメリカ言語社会動態論ⅠB	2	秋～冬	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
	<地域言語社会特論>				
	外国語教授学習研究		不開講	同上	
305510	世界文学・文化論	2	春～夏	同上	
305496	現代英米政治外交史特殊研究	2	秋～冬	同上	
305497	アジア・アフリカ言語社会研究序説	2	春～夏	同上	
305498	ヨーロッパ・アメリカ言語社会研究序説	2	春～夏	同上	
	地域言語社会特論				
	アジア言語動態論				
30550A	英米言語社会論 (A)	2	春～夏	同上	
30550B	英米言語社会論 (B)	2	秋～冬	同上	
30550C	英米言語社会論 (C)	2	春～夏	同上	
30550D	英米言語社会論 (D)	2	秋～冬	同上	
30550E	英米言語社会論 (E)	2	春～夏	同上	
30550F	英米言語社会論 (F)	2	春学期集中	同上	
305531	アジア地域社会論 A	2	春～夏	同上	
305532	アジア地域社会論 B	2	秋～冬	同上	
	<複合領域特論>				
	現代ジャーナリズム論		不開講	同上	
305511	生涯学習論	2	通年 (集中)	同上	
305534	ヨーロッパ比較文化動態論 (A)	2	春～夏	同上	
305535	ヨーロッパ比較文化動態論 (B)	2	秋～冬	同上	
	広域イストラム社会論		不開講	同上	
	地政学の特論		不開講	同上	
305504	言語文化資源の活用と情報処理研究	2	秋～冬	同上	
305505	通訳翻訳学特講 A	2	春～夏	同上	
305506	通訳翻訳学特講 B	2	秋～冬	同上	
	通訳翻訳演習		不開講	同上	
305497	多言語共生社会演習	2	夏学期集中	同上	
	<専攻言語>				
305355	中国語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305356	中国語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305357	朝鮮語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305358	朝鮮語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305359	モンゴル語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305360	モンゴル語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305361	インドネシア語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305362	インドネシア語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305363	フィリピン語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305364	フィリピン語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305365	タイ語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305366	タイ語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305367	ベトナム語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305368	ベトナム語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305369	ビルマ語特別演習 A	2	春～夏	同上	
305370	ビルマ語特別演習 B	2	秋～冬	同上	
305371	ヒンディー語特別演習 A	2	春～夏	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
305372	ヒンディー語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305373	ウルドゥー語特別演習A	2	春～夏	同上	
305374	ウルドゥー語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305375	アラビア語特別演習A	2	春～夏	同上	
305376	アラビア語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305377	ペルシア語特別演習A	2	春～夏	同上	
305378	ペルシア語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305379	トルコ語特別演習A	2	春～夏	同上	
305380	トルコ語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305381	スワヒリ語特別演習A	2	春～夏	同上	
305382	スワヒリ語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305383	ロシア語特別演習A	2	春～夏	同上	
305384	ロシア語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305385	ハンガリー語特別演習A	2	春～夏	同上	
305386	ハンガリー語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305387	デンマーク語特別演習A	2	春～夏	同上	
305388	デンマーク語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305389	スウェーデン語特別演習A	2	春～夏	同上	
305390	スウェーデン語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305391	ドイツ語特別演習A	2	春～夏	同上	
305392	ドイツ語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305395	英語特別演習C	2	春～夏	同上	
305396	英語特別演習D	2	秋～冬	同上	
305397	フランス語特別演習A	2	春～夏	同上	
305398	フランス語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305399	イタリア語特別演習A	2	春～夏	同上	
305400	イタリア語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305401	スペイン語特別演習A	2	春～夏	同上	
305402	スペイン語特別演習B	2	秋～冬	同上	
305403	ポルトガル語特別演習A	2	春～夏	同上	
305404	ポルトガル語特別演習B	2	秋～冬	同上	
	〈関連研究言語〉				
	古典漢語A・B		不開講	同上	
305411	アイヌ語	2	春学期集中	同上	
305413	現代チベット語A	2	春～夏	同上	
305414	現代チベット語B	2	秋～冬	同上	
305415	古典チベット語A	2	春～夏	同上	
305416	古典チベット語B	2	秋～冬	同上	
	カレン語A・B		不開講	同上	
	シャン語A・B		不開講	同上	
	モンクメール語A・B		不開講	同上	
305423	オセアニア諸語A	2	春～夏	同上	
305424	オセアニア諸語B	2	秋～冬	同上	
305425	サンスクリット語A	2	春～夏	同上	
305426	サンスクリット語B	2	秋～冬	同上	

時間割 コード	授業科目名	単位数 必修 選択	開講学期 (4学期制)	開講部局 (課程)	備考
305427	バリー語A	2	春～夏	同上	
305428	バリー語B	2	秋～冬	同上	
305429	ベンガル語A	2	春～夏	同上	
305430	ベンガル語B	2	秋～冬	同上	
305434	ウイグル語B	2	秋～冬	同上	
	ソグド語A・B		不開講	同上	
305437	カザフ語A	2	春～夏	同上	
305438	カザフ語B	2	秋～冬	同上	
	オスマン語A・B		不開講	同上	
	ヘブライ語A・B		不開講	同上	
	アラム語A・B		不開講	同上	
	シリア語A・B		不開講	同上	
305447	西アフリカ諸語A	2	春～夏	同上	
305448	西アフリカ諸語B	2	秋～冬	同上	
	東・南アフリカ諸語		不開講	同上	
	古代教会スラブ語		不開講	同上	
305453	ウクライナ語A	2	春～夏	同上	
305454	ウクライナ語B	2	秋～冬	同上	
305455	ポーランド語A	2	春～夏	同上	
305456	ポーランド語B	2	秋～冬	同上	
305457	リトアニア語A	2	春学期集中	同上	
305458	リトアニア語B	2	秋学期集中	同上	
305459	エストニア語A・B	2	春～夏	同上	
305460	エストニア語A・B	2	秋～冬	同上	
305461	ラテン語A	2	春～夏	同上	
305462	ラテン語B	2	秋～冬	同上	
	ギリシア語A・B		不開講	同上	
	ウズベク語A・B		不開講	同上	
	セルビア語A・B		不開講	同上	
	グルジア語A・B		不開講	同上	
305475	チェコ語A	2	春～夏	同上	
305476	チェコ語B	2	秋～冬	同上	

※開講科目は平成29年度の実績に基づき開講予定で、変更される可能性があります。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ

(趣 旨)

第1条 この申合せは、大阪大学（以下「本学」という。）の学生に対して、当該学生が所属する学科及び専攻の教育課程（カリキュラム）に加えて別途提供する大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラム（以下「マルチリンガルプログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(目 的)

第2条 マルチリンガルプログラムは、学部及び大学院博士前期課程（修士課程を含む。）を通じた部局横断型教育プログラムを構築することによって、複数の学部及び複数の研究科の教育プログラムを修め、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする。

(対象学生)

第3条 マルチリンガルプログラムは、本学の文学部、人間科学部、外国語学部、法学部及び経済学部並びに文学研究科、人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、言語文化研究科及び国際公共政策研究科に所属する学生に対して提供するものとする。

(構 成)

第4条 マルチリンガルプログラムは、学部における教育プログラム（以下「学部プログラム」という。）及び大学院における教育プログラム（以下「大学院プログラム」という。）で構成する。

2 学部プログラムは、レギュラープログラム及びショートプログラムから構成される大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラムとして開設し、その修了要件、提案、承認、修了認定証の発行及び管理運営については、別に定める。

3 大学院プログラムは、大阪大学大学院副専攻プログラムとして開設する。

(修了要件)

第5条 マルチリンガルプログラムの修了の要件は、学部プログラムのうちレギュラープログラムを修了し、かつ、大学院において所属する専攻があらかじめ指定する大学院プログラムを修了することとする。

(修了認定証の発行)

第6条 学部プログラム及び大学院プログラムの提案部局又は幹事部局は、マルチリンガルプログラムを修了した学生に対して、所属専攻の修了後、速やかに学部プログラム及び大学院プログラムの提案部局又は幹事部局の長と総長との連名によるマルチリンガルプログラムの修了認定証を発行することができる。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムの一部として実施される 学部プログラムに関する覚書

(趣 旨)

第1条 この覚書は、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成プログラムに関する申合せ（以下「申合せ」という。）第4条第2項の規定に基づき、大阪大学マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム（以下「学部プログラム」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

(構 成)

第2条 学部プログラムは、その教育目標に沿って、所属学科に準ずる一定のまとまりを有する科目により構成するものとし、レギュラープログラム及びショートプログラムを設ける。

(修了要件)

第3条 学部プログラムの修了に必要な単位数は次のとおりとし、各学部プログラムごとにこれを定めるものとする。

(1) レギュラープログラム 24単位以上

(2) ショートプログラム 12単位以上24単位未満

2 学部プログラムの修了に必要な単位と所属学科の卒業に必要な単位との重複を認めるものとする。ただし、当該学部プログラム修了のために必要な単位数の半数以上を、所属学科の卒業に必要な最低修得単位数以外に修得しなければならない。

(提 案)

第4条 部局（文学部、人間科学部、外国語学部、法学部及び経済学部をいう。以下同じ。）は、単独で、又は複数の部局が連携して、学部プログラムを提案するものとする。

2 前項の場合において、複数の部局が連携して提案する場合は、幹事部局を定め、幹事部局から提案を行うものとする。

(承 認)

第5条 マルチリンガル・エキスパート養成プログラム運営協議会は、提案部局又は幹事部局から提案された学部プログラムの名称、内容等について、審議し、承認するものとする。

(修了認定証の発行)

第6条 提案部局又は幹事部局は、学部プログラムを修了した学生に対して、所属学科の卒業後、速やかに提案部局又は幹事部局の長と総長との連名による学部プログラムの修了認定証を発行することができる。

(実 施)

第7条 学部プログラムの実施については、提案部局又は幹事部局で行うものとする。

附 則

この申合せは、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この改正は、平成29年4月1日から施行する。

各プログラムの詳細については、「各プログラム紹介」の各プログラムの問い合わせ先にご照会ください。

(全般的な問い合わせ先)

大阪大学 言語文化研究科・外国語学部箕面事務室
マルチリンガル・エキスパート養成プログラム (MLE) 担当

〒562-8558 箕面市粟生間谷東 8-1-1

Email : multilingual @ lang.osaka-u.ac.jp

TEL : 072-730-5062

ホームページ URL : <http://www.mle.osaka-u.ac.jp/>



